

POLITICAL JOURNAL

2025 Feb.

新政界往来

2

600円

創刊 94 年 国会両院記者会所属

城内実・内閣府特命担当大臣に聞く
経済安保は生命と暮らし
守り、経済成長を果たす



城内実・内閣府特命担当大臣

音楽は人を強くさせる
今瀬康夫氏に聞く

党勢低落止まらぬ公明党
石井代表落選で繋ぎ人事

石破政権これからが正念場

高野山真言宗 宗長老・大僧正
池口恵観師

下地幹郎氏の捲土重来を期待
日本経営者同友会・会長
下地常雄

新政界往来 ②

2025年2月号

CONTENTS

経済安保は生命と暮らし 守り、経済成長を果たす

城内実・内閣府特命担当大臣に聞く

4



自民党、未曾有の危機（下） 石破政権これからが正念場

高野山真言宗宿老・大僧正 池口恵観師

10



下地幹郎氏の政界引退宣言 期待したい捲土重来

日本経営者同友会会長 下地常雄

14



往来仰天ニュース

小型機パイロットが心停止！素人の女性乗客が無事帰還／宝くじ2枚で100万ドル当選／地下室に眠っていた意外な「お宝」／ハネムーンで飛行機墜落、ある偶然が命を救う／服役中に「人生を変える」と決意、2度人命救助した米国人／史上2番目の巨大ダイヤ発見／最年少17歳が司法試験に合格／米女性は花束を買った後、そっと店主に手渡し「本当に必要な人に渡して」と言って立ち去った

26-33

石破政権、3月までの短命か 本予算成立と引き換えに総辞職も

20

音楽は人を強くさせる

ベルカントジャパン合同会社代表 今瀬康夫氏に聞く

34



好評連載

今月の永田町	23
ペマ・ギャルポのアジア時評	40
松田学の国力倍增論 (25)	42
永田町ファイル	
森山裕・自民幹事長	45
小川淳也・立憲民主幹事長	48
霞ヶ関ファイル	
岩屋毅外相	51
中谷元防衛相	53

あべ俊子文科相	55
海外通信	59
アジア短信	61
政界日誌	64
月間事件簿	67
書評	70
俳句・川柳「ひょうたんなまず」	73
編集後記	74

守り、経済成長を果たす

内閣府特命担当大臣 城内実氏に聞く

コロナ禍でサプライチェーンは寸断された。2024年版通商白書では「現在でも調達先の特定の国への依存状況が続いている」とリポートしている。25年1月20日に米大統領に就任するトランプ氏は関税障壁を設ける意向で、これも円滑な物流の阻害要因と浮上してくることは必至だ。資源の乏しい日本は厳しい国際環境の中、どうサバイバルしていくのか、城内実内閣府特命担当大臣に聞いた。

（聞き手＝徳田ひとみ本誌論説委員）

——経済安全保障担当大臣に就任されました。経済安全保障とはどういうものでしょうか。

経済安全保障とは、一言で言えば「経済的な観点からわが国の平和や国民の命と暮らしを守ること」です。2022年12月に閣議決定した「国家安全保障戦略」においては、「わが国の平和と安全や経済的な繁栄等の国益を経済上の措置

インタビュー

を講じ確保することが経済安全保障」であるとしています。例えば、ミサイルやスマホ、自動車、医療機器、幅広い製品に組み込まれている半導体の供給不安が高まれば、国民の安全や暮らし、産業活動などに悪影響が生じるおそれがあります。こうした事態を避けるためには、「経済上の措置」として、半導体の供給（生産）に取り組む民間企業を政府が支援することが考えられます。このように、国民の暮らしや産業に欠かせないモノや材料をしっかりと確保するための取り組み等を通じて、我が国の自律性や技術の優位性などを高めていくことが経済安全保障です。経済安全保障の取り組みによって、わが国の平和や国民の命を守るとともに、安全・安心なビジネス環境を実現することで、日本経済の成長やよりよい国民の暮らしにつなげてまいります。

——人材は各省庁からの派遣なのでしょう

経済安保は生命と暮らし



きうち・みのる 1965年4月19日生まれ、出身地は静岡県浜松市。父は警察庁長官を務めた城内康光氏。東京大学教養学部卒業。外務省入省。2003年、衆議院議員総選挙に静岡7区から無所属で出馬し初当選。以後7期、外務大臣政務官、外務副大臣、環境副大臣、衆議院外務委員長を務めた。日、独、英、仏、韓国語を話すペンタリンガル。1950年代のヴァンテージ・オーディオのマニアで、趣味はSPレコードのコレクターとサッカー。著作に『政治家の裏事情』（幻冬舎）。

うか。そうした場合、領土や主権を守る防衛庁の意識と経済的繁栄を意識する経済担当省庁との間で座標軸のずれが起きることはないのでしょうか？ 国際的なスタンダードからすれば「安全保障あつての経済」と思われますが、大臣はどういう認識でしょうか？

安全保障と経済は、いまやふたつに割り切れるものではなく、どちらも国民の命と暮らし、日本の平和や安全に直結する、車の両輪のようなものだと考えています。国家安全保障に関する企画立案・総合調整等を行うための組織として内閣官房に設置されている国家安全保障局（NSS）には、経済分野における国家安全保障上の課題を大局的に捉え、戦略的な対応を迅速かつ適切に行うために「経済班」が設けられています。「経済班」には、いわゆる「経済官庁」といわれる省庁を含め、経済安全保障に関わりの深い関係行政機関が、人材面からサポート

しており、それぞれの職員が専門性を活かしながら政策の企画・立案に携わっています。専門性やバックグラウンドの違いはありながらも、一丸となって経済安全保障施策の推進に取り組んでいます。――コロナ禍でサプライチェーンは寸断され、マスクなどの調達先が中国に集中していたことが明らかになりました。安倍政権時代には補助金を出して中国からの国内回帰や第三国への移転を促しましたが、中国に拠点を置く日本企業は現在、3万1000社。米国やタイ、ベトナムなどの東南アジア、インドと比較しても突出しており、コロナ禍前より増えています。また、24年版通商白書では「現在でも調達先の特定の国への依存状況が続いている」とリポートしています。どう対処すべきなのでしょう。

グローバルなサプライチェーンの脆弱性や国家・地域間の相互依存リスクが顕在化し、世界各国が戦略的物資の確保にしのぎを削っています。このような中で、わが国においては、経済安全保障推進法の下、国民の生存や国民生活・経済活動にとって重要な12の物資を指定し、半導

な「秘策」はありません。戦略的な研究開発の推進、人材育成を含む研究基盤の強化、イノベーション・エコシステムの形成、経済安全保障との連携といった視点から、一つずつ政策を積み重ねるほかないと考えます。

その際もちろん、予算の確保や、人材の育成・確保に取り組んでいくことがとても重要です。成果は一朝一夕に出るものではありません。試行錯誤を繰り返し、粘り強く時間と予算をかけていくことが何より重要です。

また、わが国の「統合イノベーション戦略2024」に示された「重要技術に関する統合的な戦略」、「グローバルな視点での連携強化」、「AI分野の競争力強化と安全・安心の確保」などの取り組みを進めることが喫緊の課題です。具体的には、長期的・安定的供給、環境、安全性等の観点で優れた特性を有し「次世代のエネルギー源」といわれるフュージョンエネルギーの国家戦略の改訂や、利用機会や活用可能性が急拡大しているAI制度の在り方を検討しているところです。

体や肥料、工作機械・産業用ロボット、抗菌性物質製剤などの安定供給確保に取り組む事業者を支援しています。その際、供給が特定少数国・地域に偏っているかどうかは、重要な判断基準の1つです。いわゆる「特定重要物資」ではありませんが、ご指摘のとおり、新型コロナウイルス禍において、輸入に頼っていたマスクが不足し、国民生活に甚大な影響を及ぼしたことは記憶に新しいと思います。調達先が特定の国に依存することによって、国民の暮らしや産業に欠かせないモノや材料が不足する事態は避けなければなりません。重要な物資については、国が率先して、国内生産化や輸入先の分散、多角化を推進し、国民生活を守ることが何より重要です。我が国の経済安全保障の取組は、特定の国を念頭に置いたものではありませんが、調達先の依存状況も踏まえ、サプライチェーンの強靱化に取り組んでいきたいと思えます。

――日本の貿易の99・6%は海上輸送に依存しています。台湾問題や北朝鮮の暴発リスクなど我が国周辺の安全保障リスクは高まるばかりです。海上輸送の安全

こうした政策の積み重ねにより科学技術力の向上を図っていきます。

――量子技術では中国は量子通信を実現し、合肥市に予算1兆円の量子技術研究所を建設しているとも聞きます。我が国は周回遅れの感がありますし、予算規模でも劣ります。起死回生策はあるのでしょうか？

中国の量子技術への累積投資額は、2023年時点で日本の約21倍というレポートもあり、量子技術に対する投資で中国が突出していることは承知しています。

一方、日本では量子技術の実用化・産業化に向けて戦略的に研究開発等を進めており、昨今、産業界、学术界を問わず、各国から日本に対して国際連携の話が殺到しているのが事実です。こうしたことから、わが国が依然として高い技術レベルを維持していると認識しております。

量子技術は、将来の経済・社会に変革をもたらす革新的技術であり、安全保障の観点からも極めて重要な基盤技術です。国力に直結する技術といっても過言

と自由度を担保するポイントは何になりますか？

我が国は、四方を海に囲まれ、食料やエネルギーを始めとした重要な物資を輸入している世界有数の海洋国家であることを考えると、「海上輸送の安全と自由度の担保」は重要な課題であり、国土交通省や防衛省などが取り組んでいるところです。経済安全保障の観点からは、重要物資の安定供給確保に向けた国内の供給力拡大や調達先の多角化などの取り組みに加え、各産業等が直面するリスクの点検・評価を行っており、それを踏まえ、必要な取り組みを検討・推進していきます。

――科学技術力は産業を起こし、国防力を増大させる要です。科学技術力振興の秘策は？

ご指摘のように、科学技術・イノベーションは、我が国の国力の源泉です。各国の覇権争い、生成AIや量子などの新技術の急進展、経済安全保障をとりまく環境の激変などにより、その重要性が一層高まっています。

科学技術力を高めるための魔法のよう

ではありません。

量子技術そのものの産業化のみならず、量子技術による産業の生産性の向上や我が国発の新産業の創出・発展に向けて総力を尽くす必要があります。

量子技術にはいくつかの研究分野がありますが、その中でも特に量子コンピュータについては、産業化に向けて、米国、英国、EU等においてコンピュータ環境の整備が大きく進展しており、国際連携とともに競争も激化しています。日本においても、引き続き、理化学研究所、量子コンピュータ研究センターや、産業技術総合研究所、量子・AI融合技術ビジネス開発グローバル研究センターを中心に、量子コンピュータの研究開発を強力に推進します。「世界最高水準のテストベッド環境の整備」「ユースケースの創出・ソフトウェアの開発」「国内サプライチェーンの確立・強化」など、量子コンピュータの実用化・産業化に向けた環境整備と開発を加速していく考えです。また、量子暗号通信について、我が国企業の装置は世界的にもトップレベルの性能を実現しています。

銀行債務者の 権利保護のための法律を



銀行の貸し手責任を問う会
<http://www.kashitesekinin.net/>

引き続き、産学官連携の下、量子暗号通信の研究開発や情報通信研究機構の試験設備を活用した実証を強力に推進するとともに、量子センサー等の早期社会実装に向けた研究開発支援を行っていきま



【聞き手プロフィール】
 とくだ ひとみ 1970年3月、日本女子大学文学部社会福祉科卒業。1977年4月、徳田塾主宰。2002年、経済団体日本経営者同友会代表理事に就任。2006年、NPO国連友好協会代表理事に就任。2018年、アセアン協会代表理事就任。2010年から2019年まで在東京ブータン王国名誉総領事。本誌論説委員。

特定重要物資の安定供給確保の取組について

- 所管大臣は、各物資の取組方針に基づき、企業からの供給確保計画を認定し支援する。
- 12の特定重要物資につき、基金の総額2兆1,830億円。

特定重要物資の主な支援措置の内容及び認定済計画数（計116件）

（令和6年11月29日時点）

抗菌性物質製剤（厚労）（2件認定） 原材料及び原薬の生産基盤強化、備蓄	肥料（農水）（12件認定） 備蓄	船舶の部品（国交）（11件認定） 生産基盤強化
・βラクタム系抗菌薬	・りん酸アンモニウム ・塩化カリウム	・エンジン（2ストローク・4ストローク） ・クランクシャフト ・ソナー ・プロペラ
半導体（経産）（24件認定）※ 生産基盤強化、原料の供給基盤強化	蓄電池（経産）（27件認定）※ 生産基盤強化、技術開発	航空機の部品（経産）（14件認定）※ 生産基盤強化、研究開発等
・従来型半導体 ・半導体製造装置（部素材含む） ・半導体部素材（部素材含む） ・半導体原料（黄リン、ヘリウム、希ガス、蛍石等）	・蓄電池 ・蓄電池製造装置（部素材含む） ・蓄電池部素材	・大型鍛造品 ・CMC ・炭素繊維 ・鋳造品 ・SiC繊維 ・スポンジチタン
永久磁石（経産）（4件認定） 生産基盤強化、技術開発等	先端電子部品（経産）（2件認定）※ 生産基盤強化、研究開発	工作機械・産業用ロボット（経産）（5件認定）※ 生産基盤強化、研究開発
・ネオジム磁石 ・サマリウムコバルト磁石 ・省レアース磁石	・MLCC・フィルムコンデンサ ・SAWフィルター・BAWフィルター ・電子部品製造装置（部素材含む） ・電子部品部素材（部素材含む）	・CNC ・減速機 ・リニアガイド ・鋳物代替素材（ミネラルキャスト） ・サーボ機構 ・PLC ・リニアスケール ・CNCシステム ・ボールねじ
重要鉱物（経産）（3件認定） 探鉱、鉱山開発、精錬能力強化、技術開発	天然ガス（経産）（1件認定） 戦略的余剰液化天然ガスの確保	クラウドプログラム（経産）（11件認定） プログラム開発・開発に必要な利用環境の整備
・マンガン ・リチウム ・カリウム ・ニッケル ・グラファイト ・ゲルマニウム ・コバルト ・レアース ・ウラン	・天然ガス	・基盤クラウドプログラム ・高度な電子計算機

※日本が優位性を有する半導体、蓄電池、航空機の部品、先端電子部品、工作機械・産業用ロボットとその原材料等は技術流出防止措置要件の対象としている。

「内閣官房 HP から」

自民党、未曾有の危機（下）

石破政権これからが正念場

高野山真言宗宿老・大僧正 池口恵観師

与党過半数割れという厳しい選挙結果となった衆議院議員選挙を受け11月11日に招集された特別国会では、衆参両院の本会議で首相指名選挙が行われ、衆院で30年ぶりとなる決選投票を経て、石破茂首相（自民党総裁）が第103代首相に選



池口恵観師

出され、本格的な政権運営のスタートを切った。まずは来年度予算の編成、そして来年夏の参議院議員選挙が焦点となる。目まぐるしく動く政治情勢の中で、石破総理大臣はこれからの日本をどう導いていくのであろうか。総理大臣に就任する前と就任した後では、言動に違いがあるとの指摘もマスコミからは少なくない。石破総理を理解するには、これまでの発言をよく知る必要があるかと思う。石破総理は永田町では数少なくなってきた自分の言葉で語る政治家とされてきた。読書家として知られ、人一倍、勉強家とされてきただけあって、その言葉

は鍛え抜かれている。興味深いのは、総裁選の直前にあたる今年8月に出版した石破総理の近著『保守政治家 わが政策、わが天命』のなかで、「保守とは何か」と語っていることである。それによりますと、まず、「保守というのはイデオロギーではなく、一種の感覚であり、たまたまいであり、雰囲気のようなものだ」という。さらに、「皇室を貴び、伝統文化や日本の地方の原風景を大切に、一人一人の苦しみ、悲しみに共感する。その本質は寛容です。相手の主張に対して寛容性をもって聞く、受け入れる度量を持つ」という態度こそ

保守の本質です」としている。

「保守主義の本質は寛容である」とは、戦後日本を代表する政治家である石橋湛山の至言だが、石破氏の言葉には石橋湛山の思想が底流にあるのだろう。保守の本質を寛容に置くことは、これまで右派、左派と問わず、あらゆる政治思想、あらゆる政治的立場の方々と関わってきた私にとつて、大いに共感できるところでもある。

北朝鮮を5回にわたって訪問し、平壤で現地の高官やよど号ハイジャックグループのメンバーらとの面談を重ねてきたばかりか、朝鮮総連中央会館の土地・建物を落札しようとしたことから、私には大変なパッシングを受けた経験がある。北朝鮮にとつていわば大使館のような存在である朝鮮総連中央会館が機能し続けることは、日朝間の交渉のルートを確認するという意味でも大切なことだと考えていたが、こうした私の言動は、当時なかなか理解してもらえなかった。

でも、この「保守の本質は寛容である」との言葉に倣えば、私の言動もうまく説明ができると思う。寛容を旨とする保守

政治家には、あらゆる思想や立場の人たちに対して示すことができる態度や風格というものがある。石破氏も前掲書でこう述べている。「いわゆる右寄りの主張を声高にする立場の人々は、本来は『保守』ではなく『右翼』と呼ばれるべきものだと思います。

政治家も、相手を尊重し、もしおのれに誤りとせば正していく。少数意見を大切にし、国会では野党の質問にも丁寧に対応する。それが保守のあり方です」。

堂々たる保守の気概を示したものと受け止めたい。そして、そのような政治をぜひとも実践してもらいたいものである。石破総理は、東京で1957年に生まれた。67歳。父とともに鳥取県に転居している。父の二郎氏は、建設省事務次官から鳥取県知事、参議院議員となった人物だ。石破総理は、父が48歳の時の子どもだ。高齡で子供ができたことを恥ずかしかつて父の二郎さんは病院に行きたがらず、代わりに秘書をよく行かせていたために、病院側は秘書を父親と勘違いしたこともあったそうだ。

多忙だった父の二郎氏には、石破少年

のことをかまう時間があまりなかったが、鳥取県知事時代に息子を連れて近くの山に登ったことがあるそうだ。石破少年は父に連れられての山登りは初めてで、すぐく嬉しかったそうだ。山から帰るなり父は母に「二度と茂を連れて歩かない」と言い出した。それはなぜか。父の二郎氏はこう説明したという。「すれ違う人が皆、自分の父親に頭を下げるようなところを倅に見せてはならんだろう」

今年、兵庫県知事によるパワハラが大きな問題となり、出直し知事選挙まで行われることになった。マスコミの報道によれば、この知事はエレベーターに乗ろうとしたタイミングで扉が閉まったことに怒り、部下に「おまえはエレベーターのボタンも押せないのか」と怒鳴り、以来、県庁内に知事のためのエレベーターを配置するようになったとか。知事といえば、その県内では絶大な権力者である。この兵庫県知事も若くして知事となり、どこかで勘違いして増長してしまっただけではないか。かたや石破氏の父の二郎氏の態度は立派だ。息子に勘違いをさ

せてはならぬと考えたわけだから。

石破氏の母の和子さんも立派だった。知事公舎に入入りする役人たちは、どうしても知事の息子である石破少年のことをちやほやしてしまいがちである、そのうち、石破少年が偉そうな口を役人たちに叩くと、それを見た母の和子さんが激怒し、家から追い出したことがあったという。寒い日に泣いても喚いても、一晩中、入れてもらえなかつたと石破総理は回想している。和子さんはこう言ったそう。

「お前が偉いわけではない。お父さんが偉いからお前にも丁寧にしてくださっているのに、何という思い上がりだ」

石破総理の幼少期の話を挙げたのは、これらのエピソードが政治家としての石破氏を形成する大切な要素だったのでないかと感じるからだ。政治家たる者決して驕ることなく謙虚に民の声に耳を傾けなくてはならない。ましてや、先の兵庫県知事のように内部告発の声を上げた県職員を、「嘘八百」と語るようなこととは決してあつてはならない。この県職員はのちに自ら命を断つた。

ぐる問題で、発言が二転三転したとの印象が残る。マスコミや野党からもこの点で厳しく批判された。

石破氏は、自党内では、防衛庁長官や防衛大臣を歴任して安全保障の専門家となつたばかりか、農林水産大臣となつて自民党きつての農政通でもあつた。2012年の総裁選では、安倍晋三氏と激しく競り合っている。よく知られている通り、当選したのは安倍氏だったが、1回目の投票では石破氏が地方票を多く獲得してトップの票を得ている。その総裁選の後、幹事長に任命されたが、7年8か月続いた安倍政権、そしてその後の菅義偉政権、岸田文雄政権の間、自民党内では非主流派であり続けた。

本人は、著書『異論正論』の中で、当時を「大石内蔵助のような心境」だったと述べている。それは本物の大石内蔵助が主君の仇である吉良上野介を討つたように、ある日、決起して倒閣運動をしようというわけではなく、「あくまでもいつか来るかもしれない出番に備えて研鑽をつんでいた」そうである。この時代、マスコミなどによる「次の首相にふさわ

石破氏は、父親の二郎氏が亡くなった後に、時の政界の実力者・田中角栄氏から「おまえが出る」と声をかけられて、それまで勤めていた三井銀行を退職して政界入りをする。田中角栄を領袖とする木曜クラブの事務局で角栄氏の薫陶を直接受けている。1986年の衆議院議員選挙で鳥取県選挙区から立候補して初当選を果たした。当時29歳。全国最年少の国会議員の誕生である。

ただ、その後の石破氏の政治家としての歩みは、一筋縄ではいかない。衆議院議員1期目に起きたリクルート事件をきっかけに武村正義や渡海紀三朗の各氏らとともにユートピア政治研究会を立ち上げて政治改革に向けた提言を発表。細川連立政権が進めた政治改革関連4法案には、野党に転落した自民党の方針に反して賛成したことから役職停止処分を受けている。その後、当時の河野洋平総裁が「憲法改正論議を凍結する」との方針を示すと、自民党を離党して、小沢一郎氏率いる新生党に参加。さらに新進党を経るも、小沢氏の安全保障や財政再建に向けた考え方に幻滅して1997年に再び

しい人」の調査で上位の常連中の常連であり続け、非主流派であるがゆえに、比較的自由に発言できた。それがまた石破氏の持ち味でもあつた。ところが、今や日本のトップである総理大臣という立場である。言葉の重みは、自民党の一議員だった時代とは、まったく違う。その一挙手一投足が注視され、迂闊な発言をしてしまえば、すぐにマスコミによって大きく報道されてしまう。いま石破総理は言葉の重みを噛み締めているのではないだろうか。それでも、ブレることのない、しっかりとした言葉を持つ総理大臣となつてほしいと期待する。

石破氏は政治家になる直前の40年前に自民党の大先輩政治家である、ミッチーこと渡辺美智雄氏から教わったことを今も大切にしているという。その渡辺氏の教えとはこうである。「勲章やカネが欲しくて政治家になつた奴は今すぐやめろ。政治の仕事はたった一つ。勇氣と真心を持つて真実を語る。これしかないんだ」。政治家は有権者に嫌われることであつても、必要な時にはそれを口にして語らなければならない。そう説いている

自民党に復党した。

この時のことを捉えて、石破氏について「あいつは一度、自民党を出て行つたヤツだ」という言われ方をされることもあつたという。それに対して、政治とカネをめぐる問題を正すために自民党を出て、安全保障という国家の根幹を成す政策のために自民党に復党した。いったいその何が悪いのか、という思いを持つていたと前掲書で振り返っている。

そんな石破氏を論じたのが、竹下登元首相だ。竹下氏にこう言われたという。「石破よ。君は正しいことを言つてきた、と思つているのだろうが、正しいことを言うことは、場合によっては人を傷つけることになるものだというのを忘れるなよ」

この言葉を重く受け止めた石破氏は、以来、拳拳服膺していると明かしている。失敗を恐れることはない。恐れるべきは失敗から何も学ばないことである。驕ることなく常に改めるべきは改める。それが政治家のあるべき姿であろう。

その石破氏だが、衆議院議員選挙の日程や、いわゆる「裏金議員」の公認をめぐり、渡辺氏の教えも、やはり言葉の重みを表したものだと言えよう。石破氏は総理となるまでに、様々な主張をしてきた。地方創生や防災省の創設に取り組むとの考えに期待したいと思うが、やはり大きく注目されるのは、日米地位協定の改定とアジア版NATOの創設だろう。どちらも安全保障に関わる問題で、米国との交渉を必要とするだけに、いずれも容易に実現するものではない。

石破総理が有言実行の総理大臣となるのか。これからの正念場である。これまでに4度も総裁選に出て敗北を重ね、5度目の挑戦にしてみに自民党の総裁、そして総理大臣の座を射止めたわけだが、どうしてそうまでして総理大臣になりたかつたのか。あるイベントで、この質問をされた石破氏は、こう答えている。「総理大臣になりたいのは、それが手段だから。総理にならないとできないことがある」。石破氏が総理にならないとできないこととは、いったい何なのか。安全保障なのか、地方創生なのか。それともクリーンな政治の実現なのか。しっかりと注視していきたい。

下地幹郎氏の政界引退宣言

期待したい捲土重来

日本経営者同友会会長 下地常雄



【プロフィール】しもじ つねお
1944年、台湾生まれ。宮古島育ちで歴代米大統領に最も接近した国際人。77年に日本経営者同友会設立。レーガン大統領からバイデン大統領までの米国歴代大統領やブータン王国首相、北マリアナ諸島サイパン知事やテニアン市長なども親交が深い。93年からASEAN協会代表理事に就任。テニアン経営顧問、レーガン大統領記念館の国際委員も務める。また2009年、モンゴル政府から友好勲章（ナイラムダルメダル）を受章。東南アジア諸国の首脳とも幅広い人脈を持ち活躍している。

こうしたドツポにはまった政治状況を打開できる器量と意欲を持っているのが下地幹郎氏だったはずだ。

反対だけのオール沖縄

おりしも選挙前、辺野古新基地建設問題について「オール沖縄は反対はできるが止められない。政府、自民党が推進するV字案も県民に何のメリットもない」と話したのは下地幹郎氏だった。

その上で、米軍キャンプ・シユワブ陸上部と既存の埋め立て部分を活用した軍民共用の「やんばる国際空港」とすることで「解決させる」と訴えたのだ。

その下地幹郎氏が、衆議院選で落選の報に接するや「政治家はこれで終わりま

先の衆院選で沖縄4選挙区は、改選前と構図は変わらず自民党とオール沖縄が2議席ずつを獲得した。

両者拮抗の政治地図のままでは、沖縄

は「水と油」の溶けあわない分断状況が続くだけだ。基地問題などでは意地と意地の衝突が続くだけの不毛さが顕著にもなっている。

「と那覇市おもろまちの選挙事務所です」と那覇市おもろまちの選挙事務所です支持者を前に深々と頭を下げ、政界引退を宣言した。

だが、それでいいのか。大きな志の前には試練の波はつきものだ。その試練の波にただ流されれば、生きていけるとは名ばかりの魂が抜けた抜け殻の漂流人生が待っているだけだ。

確かに2021年の衆議院選、22年の沖縄県知事選、それに今回の衆議院選と立て続けに3連敗ではあった。往復ビンタを食らった上に、今回の選挙でダメ押しの一発がみぞおちにお見舞いされたかもしれない。

だが、それでノックダウンされるようなやわな人物ではないことは、私自身が百も承知している。

浪人時代も次期衆議院議員の名刺

その前の選挙でも、順風満帆の戦いではなかった。だが敗北する時があっても、その手には「次期衆議院議員」との名刺が握られ満面の笑みとともに支持者を回り、初対面の人たちの心をも引き付けていったではないか。

深刻で重い責務を担っていても政治家というものは、明るくなくてはならない。度量と明るさがあれば、人々が集まってくる。人々が集まれば複眼思考で知恵も生まれる。下地幹郎氏の魅力の1つは、南国の青空のようなその明るさだ。

行動力も抜群だった。何せ米首都ワシントンで要人と会うのに、日帰りで往復していたのには脱帽したものだ。還暦を過ぎた63歳と言えば、昔なら隠居生活に入ってもおかしくはない年だ。

だが今は、人生50年といわれた江戸時代ではなく、人生100歳時代の令和だ。63歳など、まだ小僧だ。隠居するには、まだ定年に達していない。

自縄自縛の政治風土打破を

私は常々、戦後から続く沖縄の自縄自縛的な政治風土は変えないといけないと思ってきた。

ともかく、沖縄では何かことを起こそうとすると、どういうわけか、まず反対から入ろうとする。

昔、普天間飛行場の代替基地候補として名護市の意見を求めても、全員反対だ

った。

私の気持ちとしては、何とか宮古島に来て欲しいと思っていた。

島の経済の活性化をいうなら、これほどの最高条件での企業誘致はない。何千億円ものキャッシュが転がり込むだけでなく、こちら側からいろんな条件が言える立場だ。しかし、関係者を訪ねても、誰も首を縦に振ろうとしなかった。

サイパンに飛んだ下地幹郎氏

それでやむなく、2010年2月にサイパンに飛び、米自治領北マリアナ諸島のフィテリアル知事と会って、基地受け入れを了解してもらう交渉に入った。

その時、サイパンまで駆けつけてくれたのが、下地幹郎氏だった。当時は国民新党の下地幹郎政調会長をしており、社民党の阿部知子政審会長（当時）なども引き連れて飛んでくれた。その時、フィテリアル知事から米軍普天間飛行場の同諸島への移設を受け入れる意向を引き出したのはマスコミが報じた通りだ。フィテリアル知事は米政府の認可を条件としながら、「航空、陸上、後方支援の部隊

を含む普天間基地すべての役割を将来は代替してもいい」とコメントしたのだ。

日韓関係の正常化

下地幹郎氏は日韓関係の正常化にも一役買っている。



フィティアル知事らと協議する下地幹郎氏ら

2019年、慰安婦問題を巡って天皇陛下の謝罪を求める発言をした韓国の文喜相国会議長が来日した際、日本の山東昭子参議院議長(当時)をはじめ政治家は誰も会おうとしなかった。

その折、下地幹郎氏は音喜多駿議員ら日本維新の会所属の議員3人や他の国会

議員を伴って、文議長と会っている。

下地幹郎氏には強い信念があった。

それは「朝鮮半島の安定なくして沖縄の米軍基地負担の軽減はあり得ない。朝鮮半島が不安定になれば、沖縄の負担は増すばかり。それを私は許せない」というものであり、何とか日韓関係の正常化を図りたいという思いがあった。

だから本気で沖縄の基地環境を変えるには、ぎくしゃくした日韓関係を正常軌道に戻すことがまずは先決課題だった。そのためなら「火中の栗を拾う」ことに、何の抵抗もなかったのだ。

日韓GSO MIA問題

さしあたって日韓GSO MIA問題を解決する必要があった。

日韓GSO MIAとは、2016年に締結した日韓両政府が安全保障に関する情報を共有・保護するための「軍事情報包括保護協定」をいう。主に北朝鮮が発射する弾道ミサイルのレーダー情報やミサイルの発射準備情報などを共有する。協定締結前は米国を介して両国の情報を共有していたが、締結後は直接のやりと



テニアン市長(右)からテニアン経営顧問を委託された下地常雄氏(中央)

れた経緯がある。

下地幹郎氏もその一役を担ったことになる。このGSO MIA問題解決ためだけに2019年9月3日に初めて訪韓してから2カ月間に5回の訪韓を果たしたほか、何度となく韓国側との電話会談を行い精力的に動いたのは下地幹郎氏だった。

沖縄に心血注ぐ

過去、沖縄に心血を注いだ大物政治家は何人もいた。

まずは1947年、戦後初めて沖縄人連盟を代表して沖縄を訪問し、沖縄県民から大歓迎を受けた稲嶺一郎氏は生涯、沖縄復興に全力を尽くし、沖縄保守勢力の中心軸として活躍された。元首相の小淵恵三氏も沖縄への思い入れは深いものがあるが、学生時代、稲嶺一郎氏の東京の家に下宿していて、多分に稲嶺氏から薫陶をうけたと理解できる。小淵恵三氏は第84代内閣総理大臣時代の2000年7月、サミットを初の地方開催とし沖縄サミットを決断した。小淵首相(当時)はその年の4月、脳梗塞に倒れ出席はか



現地紙に掲載された記事

りが可能となった。

協定は1年ごとに自動更新される仕組みで、破棄する場合は更新期限の90日前にあたる毎年8月24日までに相手国へ通告する義務がある。

2019年の8月、韓国の文在寅前政権は、一度、日本とのGSO MIAを更

新・延長せず破棄する決定を行ったものの、米政府の説得などにより日本政府への破棄の通告は行われず、協定は維持さ

った梶山静六氏は、「沖縄が私の死に場所だ」とその覚悟を語ったほど沖縄への思い入れには深いものがあった。

山中貞則氏の弟子

今の政治家に、こうした仰ぎ見る峰々

国内外の中小企業の異業種交流を 目的とした15,000社の経済団体です。

当会顧問団がサポートします。

■顧問構成一顧問団 CLASSIFICATION - CONSULTANTS

専門別分類 Specialists Category	No. of members	業務別分類 Classification
・弁護士 Lawyer	100名	・経営 Management
・公認会計士 CPA	100名	・能力開発・教育・研修 Training & Education
・弁理士 Attorney	50名	・人事・労務 Human Resources & Labor
・経営コンサルタント Business Consultant	80名	・財務・会計・税理 Finance, Accounting & Tax
・不動産鑑定士 Real Estate Appraiser	59名	・法律 Law
・医師 Doctor	105名	・特許・許認可 Special Permission & License
・技術士 Technician	43名	・建築・設計・不動産鑑定 Construction, Design, & Real Estate
・税理士 Tax Accountant	100名	・マーケティング Marketing
・社会保険労務士 Social Insurance Specialist	87名	・生産管理・生産技術・設備技術 Product Development, Technology & Mgt.
・一級建築士 First-class Builder	174名	・研究開発・先端技術・学術・技術 Research & Analysis
・司法書士 Judicial Scrivener	64名	・EDP・通信・ソフト開発・DB・SIS Communication, IT, PC Software R&D
・行政書士 Administrative Scrivener	55名	・国際ビジネス World wide Business
・コンサルタント、Consultants & Coordinators	161名	・教養・芸術・生活・マナー・スポーツ Art, Hobby, Sports,
・コーディネータ for Education and other		・医療・健康 Health & Medical Information
・教育等、各種専門家 Specialists.		



日本経営者同友会

JAPAN ENTREPRENEURS
&
PRESIDENTS ASSOCIATION

東京都千代田区神田錦町三丁目二番地

TEL. 03-5280-6222(代)

●資料請求・お問い合わせは、上記までお気軽にご連絡下さい。



来日した文喜相・韓国国会議長（中央）を迎えた下地幹郎氏（左）と下地常雄氏（右）

を構築する人間山脈に、心情において繋がる人物が乏しいことこそが、我が国の政治の貧困を招いている元凶でもある。二世議員が跳梁跋扈する今の永田町では、そつなく丸くまとまっではいるものの、アジアを俯瞰し歴史を背負って立つダイナミックな政治家が見当たらない。薄っぺらな政治家の質を浮き彫りにした側面がある。

下地幹郎氏は2021年7月9日にメルマガジンにて配信した「山中貞則生誕100年に誓う」で以下の文章を記している。

山中門下生として感謝の気持ちでいっぱいでありました。

私が山中先生と初めてお会いさせていただいたのは、今から37年前、22歳のときでありました。

山中先生が第1次中曽根内閣の通産大臣を務められていたとき、脳梗塞で倒れられ、そのリハビリ治療のために、石垣島に滞在されておりました。

船上で揺れを感じるのがリハビリになるとのことで、山中先生は船に乗り釣りをされておりましたが、その間、私が餌をつけて投げる係を任命されたのです。

山中先生のそばにいたことで政治の重要性を学び、「政治家が本気になれば、地域を変えることができる」と心から感じる事ができるようになったことが、私の国政出馬の大きなきっかけとなりました。

「沖繩の人の立場に立て」「保革の政治に惑わされるな」「沖繩に何が必要なのかをたえず考え、沖繩の人の声を大事にして政策をつくれ」「やらなければいけないことで法律がなければ、法律を立案せよ」「予算がなければ、予算をぶんどってこい」「基地の金網のなから沖繩を見るな」私の政治の根底には山中イズムが根付いていることは間違いありません。

山中先生は、私が衆議院議員に初当選した後も自室へお呼びくださり、ご指導をいただきました。

「政治家は話を聞くだけではダメだ。提案をするだけでもダメだ。必ず結果を出せ」それはつまり、沖繩県民の声を決して中途半端に受け止めてはいけないという教えだと認識し、その言葉を今なお忘れず、小さい声にも大きな声にも、絶えず結果を出していく政治を行うことを肝に銘じております。

沖繩を思い続けた山中氏の魂の後継者としての下地幹郎氏に、捲土重来に強く期待する。

石破政権、3月までの短命か 本予算成立と引き換えに総辞職も

10月27日投開票された第50回衆院総選挙の結果、自民、公明両党は、獲得議席が過半数を割り、少数与党として第二次石破政権のスタートを余儀なくされている。少しでも安定度を増すため国民民主党を取り込んで政権の延命を図る石破茂首相だが、野党第一党の立憲民主党の攻勢は激化する見通しだ。2025年3月末の本予算成立と引き換えにした石破政権退陣説が永田町を駆け巡っている。

2委員長取った立憲の思惑

衆院選後に召集された特別国会で11月11日、衆参両院の首班（首相）指名選挙

前を書いたため逆転現象は起きず、石破氏多数による指名となったのである。

が行われ、石破茂総裁が第103代内閣総理大臣に選出された。衆院では自公両党が過半数に満たないため、30年ぶりに石破・自民党総裁と野田佳彦・立憲民主党代表による決選投票となった。その際、野党が「野田佳彦」で一致して投票すれば石破氏は敗れていたが、国民民主党所属議員がそろって代表の玉木雄一郎の名

「石破さんは玉木さんの取り込みに成功した形だが、玉木さんとしても与党に恩を売って自党の政策を盛り込ませ、その成果を武器に2025年7月の参院選でさらなる飛躍をしようと目論んでいる」と語るのは自民党幹部だ。その成果の第一弾が22日に閣議決定した39兆円規模の経済対策で年収103万円を超える

と所得税が生じる「103万円の壁」の上限引き上げと、ガソリン税の検討を盛り込ませたことだ。実際に実現するための税制改正に向けて議論も国民民主党が主導することになる。

「自公としては政権延命のためには国民民主党の機嫌を損ねられない。この調子で国民民主党をうまく扱い2025年3月の本予算の成立にこぎ着けられれば石破政権は、とりあえず大きな山場を乗り越えられる」と先の幹部は続けた。だが、立憲などの野党は、その3月に照準を合わせ、「政治とカネ」の問題だけでなく



11月11日の首班指名選挙

さまざまな戦術で政権の足腰を弱らせるよう仕掛けると見られている。

その主戦場となるのは、与野党が最も激しくぶつかり合う予算委員会だ。与党はその仕切り役となる委員長ポストを立憲の安住淳元国対委員長に譲ってしまったのである。同委員会は予算を扱うだけでなく国政全般のテーマを取り上げ、議員や政府のスクランダル追及の場となってきた。委員長は議論の時間配分やテーマを選択する権限を持っており、これまで自民党議員の定席だった。「これを立憲が握ったことで自民のイメージダウンにつながるテーマを根ほり葉ほり時間をかけてやり、予算案成立にも抵抗して採決させないよう舵取りするのではないか」（自民党本部職員）。

「立憲が二つの常任委員長を捨ててでも法務委員長のポストを取りに来たのも、わが党にとつてまずい」と先の職員は指摘する。就任した立憲の西村智奈美氏は、強硬な選択的夫婦別姓論者で党内における代表的左派。野田代表は「選択的夫婦別姓を成立させるためにこのポストを狙った」と証言している。その背景

には、選択的夫婦別姓導入に賛成の公明党の力を借りて自民党内の保守岩盤層を崩し、自民党自体を弱体化させようとする戦術がある。家庭や夫婦の在り方、国体にまでかかわるテーマを利用し政局化しようとしているのだ。

石破政権は外圧の強風にどう対処するかという大きな課題にも直面しようとしている。米国ではトランプ大統領が再登場した。国際情勢は、ウクライナをめぐるロシアや北朝鮮兵支援の問題、中国の台湾侵攻の危険性、パレスチナとイスラエル紛争による中東地域の不安定化など続出し、米国第一主義を唱えるトランプ氏の外交・安全保障の出兵が注視されている。日米同盟を外交の基軸とする日本への防衛負担の増加を要求してくる可能性は大きい。対米公約の防衛増税はもちろん、集団的自衛権の行使を名目とした軍事的支援の要求に応えるために憲法改正をしなければならないこともあり得る。そうした時に、憲法審査会長に就任した立憲の枝野幸男元代表が順応して改憲に方向転換するとは考えにくい。

「石破首相が立憲に譲ったポストはどれもこれもまずいものばかりだ。国民主からは足元を見られ、立憲からは揺さぶられる。首相の求めるのは『国民の共感と納得』で、自ら描く国家の理想像も示せずに国政をリードしていくのはとてもできない」と指摘する与党関係者は、「そこで、立憲が狙うのは、2025年3月末の本予算成立と引き換えにした石破政権の内閣総辞職か、国民民主を巻き込んだの内閣不信任決議案の成立ではないか」と語る。

国民主の立場。二つ目は、安全保障問題。国民民主は自衛のための打撃力（反撃力）を保持し安全保障関連法を認める考えだが、立憲は安保関連法には違憲部分があり廃止すべきだとする。憲法改正への姿勢でも、立憲は「論議」を主張、国民民主は緊急時における行政府の権限を統制するための緊急事態条項や議員任期の特例延長を認める規定を創設する「改憲」のスタンスである。両党は11月5日、基本政策の協議の開始で合意したが、その後、進展はない。国民民主の榛葉賀津也幹事長は「立憲には定まった基本政策をすべての国会議員に共有してもらわないと交渉にならない」と突き放している。

どちらにしても、立憲は、10月9日に衆議院解散が宣言される直前に合意した、国民民主を含む4野党による内閣不信任決議案提出を足掛かりに、国民民主を自公与党から引きはがす作業を強化する見通しだ。国民民主としても7月の参院選を考えれば、いつまでも与党と一緒にいるのは得策ではない。両党の最大の支援組織である「連合」も同じ見解だろう。だが、立憲、国民両党の間には基本政策を巡り大きく3つの隔たりがある。

自民党としては、内閣不信任案の提出阻止のために国民民主に揉み手で頭を下げ続け、連立与党に組み込むためのアメの提案を連発しよう。ただ、その平身低頭姿勢が低迷する内閣支持率や政党支持率のばん回につながらず、「自民党らしさ」を失い続け党基盤の弱体化につながつていく危険性をはらんでいることも確かである。

党勢低落止まらぬ公明党

石井代表落選で繋ぎの人事

町の田永
今月

公明党は11月17日、結党60周年を迎えたが、党勢の低落が止まらない。10月27日投開票の衆院選で、公示前勢力の32議席が24議席（小選挙区4、比例代表20）に激減。党代表として初挑戦となった石井啓一代表は落選して辞任し、国土交通大臣だった齊藤鉄夫氏が急ぎよ、後継代表に就任した。しかし、齊藤氏はすでに72歳であくまでつなぎ役だ。ポスト齊藤には早くも、竹谷とし子代表代行、岡本三成政調会長の名前が挙がっているが、人材難にも直面している。

ポスト齊藤に竹谷、岡本の名

石井代表は衆院選公示前の8日、「今回は得票数よりも議席数だ。どれくらい議席を得られるかが最重要だ」とし、

比例代表の目標得票数を掲げないと表明した。掲げないというより、掲げられないほど厳しい戦いが予想されていたから

だ。前回2021年の衆院選では「比例の目標800万票」に届かず、約711万票にとどまった。今回は、自民が発生源の「政治とカネ」問題の逆風を受けることなどを考慮すれば、前回を下回る可能

性は明らかだった。実際、今回の得票数は600万票を割り、596万票。1996年以降の現行制度で最少を記録したのである。この低落傾向は、2005年の郵政選挙で約898万票を得たあと、止まらないのだ。

石井氏自身、比例北関東ブロックでの出馬をやめ、負ければ落選という背水の陣を敷いて埼玉14区から立候補したものの、敗退。重きを置いていたはずの獲得議席も8議席減の24議席に。支持母体の宗教団体・創価学会が「常勝関西」と誇ってきた大阪4選挙区でも全敗し、全国の小選挙区獲得議席は4にとどまったの



石井啓二氏

である。

「確かに自民の政治資金問題の逆風をこちらも受けた。しかし、党勢の低落傾向が止まらない背景には支持母体の創価学会の衰退がある」と率直に語るのには、現職の創価学会幹部A氏だ。A氏によると、故池田大作名誉会長が健康問題で表に出なくなつて以来、学会本部の求心力が低下。「池田先生の為に」「池田先生の顔に泥を塗るな」の号令が効かなくなつたという。「池田先生の御顔に毎朝ご挨拶できる、とのトークで約500万部まで拡大した『聖教新聞』は300万部ぐらゐに落ち込んでいる。あと1、2



斉藤鉄夫氏

年すれば200万部ほどになるのではないか」「池田先生を知らない3世、4世を選挙戦で動員するのは困難になっており、現在3000人近くいる地方議員数も減っていくだろう」とも続ける。党の足腰の衰えに比例した集票力の低下は急速に進行中というのだ。

衆院選の敗北が現実となった10月28日、石井代表は「逆風をはね返す自身の力量が足りなかったと言わざるを得ない」と総括、代表辞任に追い込まれた。公明党は11月9日、臨時党大会を開催し、後任の代表に国土交通相の斉藤鉄夫氏を正式に選出した。斉藤新代表は就任のあいさつで「党の持ち味である国と地方のネットワークによる政策実現力を発揮し、一丸となつて立ち上げれば反転攻勢につながる。私が先頭に立ち戦つていく」と意気込んだ。しかし、公明党には「任期中に69歳か任職24年を超える場合は原則公認しない」という内規がある。それを考慮すれば72歳の斉藤氏が長らく代表ポストに留まることはあり得ない。

公明党・創価学会の内部事情に詳しい自民党幹部は「代表になったとはいえ、

斉藤さんは創価学会の政治部長とも言われる佐藤浩副会長の言いなりで、とりあえず代表にされただけ。代えるのは簡単だろう」と語る。佐藤氏は「安倍晋三政権時代、菅義偉官房長官との太いパイプを武器に公明党を事実上、コントロールしてきた。しかし、子飼いの遠山清彦衆院議員のスキャンダル発覚と議員辞職に追い込まれたことにより共同責任を取られ、引退に追い込まれたと見られていたが、復活してきた人物」。そのため、「佐藤氏と距離感の近い人が後継者になるだろう」と指摘する。

その上で、同幹部は2人の名前を挙げ



竹谷とし子氏

た。一人は、浜四津敏子氏が務めて以来、14年ぶりに置かれた代表代行に、今回起用された竹谷とし子氏だ。竹谷氏(55)は、創価高校・大学卒の公認会計士で東京選出の参院議員(3期)。斉藤代表が竹谷氏を代表代行に起用したことについて「代表と同格の立場で、意思決定を共有していく。これからの10年で女性の国会議員を3割にする党の目標の旗振り役になってもらいたい」と述べたように、代表代行として次期代表になる準備を開始したとも見られる。

候補の二人目は、政調会長に留任した岡本三成氏。「創価大卒業生の岡本さん



岡本三成氏

も佐藤副会長の強い推しで党3役に上ってきた」ものの、「米国のゴールドマン・サックス証券に勤めた金融マンのイメージ。池田名誉会長が好んで使った『大衆の中に生まれ、大衆の中に生き、大衆の中に死んでいく』というのと印象が大きく違うので、会員からあまり支持されないかもしれない」と語る。

京大卒、外務省出身の山本香苗氏も、将来性を買われていた。しかし、参院議員を辞し、今回の衆院選に大阪16区から出馬したが落選してしまい代表後継レースからは大きく後退した。

公明党は与党入りして、自民党から政治と宗教の問題や高額献金問題などで追及されずに守られてきた。与党を離脱すれば即、それらの問題を突き付けられる恐れから、当面、「下駄の雪」として自民に着いていかざるを得ない。そのスタンスを維持しつつ、党の存在感を出していくことに苦心しよう。その一例として斉藤代表は早くも、選択的夫婦別姓制度の導入を巡り、「石破首相を通じて説得したい」と述べ、法制化に向けて自民党に働き掛ける考えを示している。

小型機パイロットが心停止！ 素人の女性乗客が無事帰還

パイロットが何らかの事情で操縦不能になり、経験が浅いか素人の主人公が代わりに操縦するといった空のパニック・サスペンス映画はあまたあった。

一番心に残るのは半世紀前に公開された「恐怖のエアポート」だ。

シナリオはこうだ。飛行中の旅客機で食中毒が発生。次々と乗客が倒れる中、パイロットもその機内食を食べていた事が判明。元ヘリ・パイロットが管制塔からの指示だけで着陸をしなければならぬという緊急事態をサスペンスフルに展開するTVムービーだ。

「事実は小説より奇なり」ではないが、こうした映画を凌駕した仰天ニュースが世界を駆け巡った。

時は10月4日、小型機のパイロットが

操縦桿を握ったまま意識を失い、フライト経験ゼロの乗客がパイロット席に着いて、着陸を見事に成功させた。

同日午後、ネバダ州ラスベガスの空港を離陸した小型双発機「ビーチクラフト・キングエア」はカリフォルニア州モントレーに向かっていた。だが午後1時ごろ、パイロットが突如、心停止状態になり意識を失った。

大型旅客機なら副操縦士がつくし、何百人もの乗客がいれば操縦士が乗っているかもしれない。だが、乗客定員が一桁の小型飛行機にはパイロット1人と乗客1人だけだった。

パイロットが操縦不能になれば、機はほどなく地上に激突することを免れなかった。乗客であったカリフォルニア州在

住の女性はパイロットの異常に気づき、驚きながらも冷静沈着にすぐ操縦桿を握り、同州カーン郡空港局の管制官に連絡をとった。

フライト経験が皆無だった女性は、ベテランパイロットから細かい操縦方法を教わり、同州ベーカーズフィールドのメドウズ・フィールド空港に緊急着陸をチャレンジすることになった。

無論、空港側は最悪の事態を想定し、着陸失敗による炎上に備える消防隊や、パイロットの手当てや事故発生時の怪我に備えた救急車が待機する中、小型機の着陸をかたずを飲みながら待った。

空に機影が見えると空港まであつという間の出来事だった。

小型機はなんなく着地に成功し、消防隊が出動することはなかった。ただ、救急車は意識を失っていたパイロットを病院に救急搬送したものの、命がよみがえることはなかった。

米NBCニュースは、緊迫した女性と管制塔との交信を公開した。

管制塔「速度が下がらないよう出力をあげられますか？」

女性「はい、いま時速132マイルです」

管制塔「OK、それで完璧です」
このやりとりだけでも、冷静沈着な女性乗客の姿が見てとれる。

まず管制官と連絡がとれたことが、女性乗客の命を救うことにつながったが、

多分、パイロットが管制官とやり取りするのを見ながらその手法をしっかりと観察していたのだろう。

危機対応でドツポにはまるのはパニックになっってしまうことだ。パニックになると目に入っても見えないし、アドバイスも耳に入ってこない。

宝くじ2枚で100万ドル当選 だが一枚を喪失、そして：

米国の首都ワシントン在住の男性がこのほど、宝くじ2枚が当たって100万ドル(約1億4400万円)をゲットしたものの、一枚を紛失。当初は、50万ドルに喜びはしたものの、失った50万ドルに心が痛む日々を送る羽目になった。

その男性フィリップ・Hさん(57歳)は頭文字のみ公表)は今夏、ワシントンのアナコステリア地区にあるガソリンスタンドで「ラッキー・フォー・ライフ」という数字選択式のくじを2枚購入した。

フィリップさんは、2枚とも同じ数字

にしたところ、これがラッキーナンバーで当たり。1枚につき「生涯毎年2万5000ドル(約360万円)」、または「一括で50万ドル(約7200万円)」の賞金だった。

だがフィリップさんは青ざめることになる。2枚、確かに購入したはずなのに、ポケットというポケットをすべてまさぐり、部屋の中をすべからず探しても、1枚がどうしても見つからないのだ。

フィリップさんはひとまず1枚を「一括50万ドル」で当選を申請。
その50万ドルを手にしたのは無論うれし

いのだが、忽然と消えたもう1枚がどうしても気にかかる。コップ半分の水を半分も水が入っていると喜ぶのか、半分しかないとなんかことを嘆くのかにも似た心境だった。

そうした心境は揺れ動いて、複雑だ。時に半分だけで十分と思っても、あの1枚があればなという思いがふつふつと湧き出してくる。

あれこれ思い出しては毎日のように、心当たりを探してみたりするのだが、どうしても見つからない。

それで「もう見つからないかも……」とあきらめかけていた矢先、札束のようになつてきた古いくじを整理していたら、なんとその中に当選くじが紛れ込んでいたのを発見した。

その感動たるや、最初に当選した時のものよりはるかに大きなものだった。なにせ失望の暗い谷底から、光り輝く希望の太陽を浴びた瞬間だったのだから、さもありなんというものだ。

結局、フィリップさんはその一枚も「一括50万ドル」を選択し、総額100万ドル入手に成功した。

地下室に眠っていた意外な「お宝」 廃品業者が「本物のピカソ」を発見

赤い口紅に青いドレス姿の女性が描かれた絵は、カプリ島近くにあった邸宅の地下室で見つけられていた。

その絵はピカソの署名があった。だが、美術品鑑定士たちがごぞつて数百万ドルの値が付く可能性もあるというピカソの絵は、半世紀以上もの長い間、その絵は眠ったままだった。

今から62年まえの1962年、イタリ



ピカソの真作を手にするアンドレアさん

ア・ロロソさんは、カプリ島近くにあった家屋の地下室で、女性の肖像が描かれた丸まったキャンバスを発見した。

キャンバスに描かれた油絵には、赤い口紅に青いドレスを着た女性が左右非対称のキュビズム画風で表現されていた。美術専門家によるとこの絵の女性は、フランスの写真家兼詩人だったドラ・マールを描いた肖像だとみられているという。マールはピカソの愛人だったとされる人物だ。

だが、ピカソの署名さえ気が付かなかった当時24歳だったルイジさんは、その価値を知らないまま、絵を安物の額縁に入れて妻にプレゼントしたものの妻は迷惑顔だったという。

妻は売り物になるほど良い絵だとはつゆも思わないまま、自宅に半世紀ほど掛けておき、その後は自分たちの所有することになったレストランに飾ったとされる人物だ。

る。

ルイジ夫妻の息子アンドレアさんは、「母はこの絵を自宅の壁に飾った際、改めて『落書き』と名付けた。描かれている女性の顔が奇妙だったから。この時、私はまだ生まれてもいなかった」と述懐する。

そして80年代、小学生のアンドレアさんは美術史の教科書でピカソの「ドラ・マールの肖像」を目にし、ピカソが50年代にカプリ島で過ごしていたことを知るようになる。

暗闇に眠ったままのピカソの絵に、運命の光明が投げかけられた瞬間だった。

ただ幸運の扉をこじ開けるには、かなりの時間と忍耐力を強いられることになる。

もしかしたら価値のある絵かもしれないと思つたアンドレアさん一家は、絵の署名が本物かどうかを確かめる数十年間の旅が始まったからだ。

一家が問い合わせた美術史家の多くは、本物のピカソではないと言いつつも、絵を家族の手から引き取ることを申し出た。

ここで手を打って小銭をもらつても、絶対、後で後悔すると確信した一家は警察に絵を届け出すことにする。

警察は当初、盗品かもしれないとしたものの、当時は本物のピカソと確認されていなかったことから、一家が引き続き絵を所有することを認めた。これで晴れて、絵はアンドレアさん一家のものになった。

そして、このほどこの絵に書かれた署名が、本物のピカソの署名だと確認された。鑑定者はミラノの裁判所の筆跡鑑定人チンツィア・アルティエリ氏だ。

さらにアルティエリ氏は数カ月かけて

絵の分析を行い、ピカソの他の作品と比較したり、絵画制作と同時期に署名が書かれたことを確認する法医学調査を行った。

その上でアルティエリ氏は9月30日、イタリアの地元メディアに寄せた声明で、「この署名がピカソのものであることは間違いない」と太鼓判を押した。

現在の美術市場を踏まえると、絵の価値は約600万ユーロ（約9億7000万円）に上るとされる。

絵画はこれからピカソ財団の正式な鑑定を経て、オークションにかけられるが10億円越えは確実視されている。

ハネムーンで飛行機墜落 ある偶然が命を救う

オーストラリアの小さな島の空港を飛び立った小型機に1組の日本人夫婦・新婚旅行中の聖一さんと陽子さんがいた。モートン島でイルカの餌付けを楽しむ、今回の新婚旅行のベースキャンプにしていたゴールドコーストへ帰る機内だ

った。この時、陽子さんのお腹には小さな命を宿していた。

陽子さんは「なんだか様子がおかしい。この飛行機、やけに低く飛んでる気がするの」と気づいたが、次の瞬間プロペラが止まった。実は夫婦はその前、モート

ン島で故障して動かなくなったのか、男性たちが飛行機を押している様子を見ていた。さらに2人はその飛行機に乗ってしまったっていたのだ。

飛行機はみるみる失速して急降下、2人は必死に陽子さんのお腹の子供をかばつたものの、機体は海に墜落した。2人ら乗客は放り出されてしまい、さらにその海は大荒れだった。

その時、浜辺で大いに盛り上がっている若者たちがいた。小型機が墜落したのは浜辺の近くのため、墜落の衝撃は凄まじかった。音が聞こえ、何かの事故か？と思つた若者たちは荒れ狂う海にむかつて駆け出した。実は若者たちはライフセーバー。しかしそこは夜の海。波も高く、潮の流れも速い。ライフセーバーとはいえ一歩間違えれば命を落としかねない。しかし、彼らは勇敢に救出活動が続け、救助隊が駆けつける前に何人もの命を救った。

陽子さんのお腹の赤ちゃんも無事で、その後、女の子を出産。名前はセイラちゃんと言った。海の名を象徴するセイラー服からとつた名前だ。

服役中に「人生を変える」と決意 2度人命救助した米国人

「現在の刑務所は罰を与えるだけで更生する場になっていない」

2年間の服役を終えたホリエモンこと堀江貴文氏が語った言葉だ。

だが更生プログラムは、生まれ育った環境など一人ひとり違うし、そこから解きほぐしていくとなると結構難しい。それこそ一人ひとりにカウンセラーをつけなくてはならなくなる。その手間も予算も組めない以上、罰としての拘束による自由のはく奪と規律正しい生活による社会復帰への手助けが多少できる程度かもしれない。

こうした中、米国人男性が刑務所に2年以上も服役しながら今秋、1カ月半の間に2回も人命救助を行ったことで、耳目を集めている。

「ヒーロー」扱いされている人物は、テキサス州居住の47歳、ジェイコブ・ベルさんだ。

1996年に強盗の罪で起訴され、懲役35年6カ月の実刑判決を受けながら、服役態度が優秀で模範囚として評価され

22年間の刑期を終えた時点で仮釈放された。仮釈放された受刑者は保護観察を受けながら、刑期満了まで過ごすことになる。目的は、刑務所内での反省・更生が認められた受刑者を、社会の中で更生させることにある。

しかし、ジェイコブさんは保護観察者から認められるどころか、社会全体から賞賛をあびることになった。

出所後、結婚して子供も1人もうけたジェイコブさんが最初の人命救助したのは今年の8月24日。テキサス州のワクサハチ湖で友人と釣りをしていた時に、水難事故に遭遇。ジェイコブさんは溺れていたティーンエージャーの少女を飛び込んで岸まで引き上げた後、水を吐き出させて命を救った。この時、彼女を助け

ようとして溺れた21歳の男性も救助したものの、残念ながら男性は死亡が確認された。

そして10月初旬にはテキサス州コマンチ郡の道路をトラックで走っている時に、交通事故に遭遇。電信柱に衝突した車は逆さまにひっくり返り、出火していた。

ジェイコブさんが駆けつけると、車内には意識のない男性(72)を発見。男性を窓を叩き割って引きずり出しはしたものの、心停止状態だった。すぐさま胸を強く圧迫したり息を吹き込んだりして心肺蘇生を試みると、男性は息を吹き返したという。

刑務所にいた時、ジェイコブさんは「人生を変えよう」と決意したという。

だが、「ずっと自分は、社会から受け入れられない無価値な存在で、絶対に自尊心や誇りを取り戻せないだろうと感じていた」と告白した上で、「再度にわたる人命救助で、自分も人の役に立ち社会に貢献できるのだと実感しました。これは私にとって大きな意味があります」とNBC系列の地元テレビ局の取材に応え

た言葉だった。

同地方テレビ局は「ジェイコブさんは

2人の命を救っただけでなく、自分自身をも救ったのだ」とコメントした。

史上2番目の巨大ダイヤモンド発見 2492カラットは誰を飾るのか

カナダのバンクーバーに本社を置く鉱山会社ルカラ・ダイヤモンドはこのほど、史上二番目と見られるダイヤモンドがアフリカ南部のボツワナにあるカロウエ鉱山で無傷状態で発見されたことを明らかにした。同鉱山はボツワナの首都ハボローネから北へ約480キロメートルにある。

約1ポンド(約450グラム)の重さで、2492カラットの巨大ダイヤモンド原石が見つかった。南アフリカで1905年、3106カラットのダイヤモンド「カリナン」が発見されて以来、最大の発見になる模様



だ。同社が公開した写真では、人の手のひらほどの大きさがある。

ボツワナのマシシ大統領は、原石を手記記者会見し「ダイヤモンドはわれわれのすべてだ。価格はいま厳しい時期だが、ダイヤモンドは変わらず貴重なものだ」と価値を強調した。

今回の発表以前に2番目の大きさと考えられていたのは1109カラットの「レセディ・ラ・ロナ」だった。実はこれも2015年にルカラがカロウエ鉱山で発見されたものだ。発見の2年後には、高級宝飾品を手掛けるグラフに5300万ドル(約80億円)で売却された。

ボツワナは世界有数のダイヤモンド産出国で、2019年には今回と同じ鉱山から1758カラットの原石が発見され、高級ブランド「ルイ・ヴィトン」に

売却された。

ルカラ社によると、これまでに見つかったダイヤモンドのサイズ上位10個のうち6個は同社が発見したものだという。

ルカラ社の発掘効率の良さを後押ししているのは、同社の誇る先進的なハイテクX線装置メガ・ダイヤモンドドリカバリー(MDR)と「X線透過(XRT)」技術だ。ダイヤモンドを岩盤からより容易に分離するための新しい掘削技術のおかげでもある。

ダイヤモンドは通常、色や透明度、サイズ、形状に応じて、宝石品質、宝石に近い品質、工業用品質に分類される。史上2番目の巨大ダイヤモンドがどの項目に分類されるのかはまだ不明だ。

未だその記録が破られていない3106カラットのダイヤモンド「カリナン」は1905年、南アフリカのプレミア鉱山で発見され、「カリナンI」と「カリナンII」に分割され1910年に英国王の王冠と王冠に組み込まれ、現在もそのままだ。今回の発見された史上2番目の巨大ダイヤモンドは一体、誰の頭上で輝くことになるのだろうか。

ボツワナで発掘されたこの巨大ダイヤモンドは、これまで発見された中で2番目の大きさとみられている

最年少17歳が司法試験に合格 合格者数は2年連続1500人超え 法務省

法務省は今年の司法試験で、現在の試験制度で最年少となる17歳の合格者がいたことを明らかにした。法務省によると、今年の司法試験には3779人が受験し、このうち1592人が合格した。合格率は42・13%で、男女別の合格者数は、男性が1111人、女性が481人だった。

2024年12月末時点で、合格者の平

法務省



均年齢は26・9歳で、最高齢は70歳、最年少は17歳だった。17歳での司法試験の合格は、現在の試験制度が開始された2006年以降、最年少となる。現行の司法試験制度に移行して、これまで最年少合格者は18歳だった。

司法試験の受験には、年齢制限がないため、制度としては何歳からでも受験可能だ。

しかし、司法試験の受験資格を得るには、法科大学院を修了するか予備試験に合格して受験資格を取得する必要があるため、早い人でも、10代後半の受験が現実的であるといえよう。

なお10〜20代はじめのころに司法試験に合格するためには、高校生ないし大学1〜2年次に司法試験予備試験に合格する必要がある。

したがって最年少レベルでの司法試験合格を目指すのであれば、大学入学前か

ら司法試験予備校等に通り司法試験予備試験を受験する準備をするのが現実的だ。司法試験の受験資格である「予備試験合格」もしくは「法科大学院修了（修了見込みも含む）」を満たしている人であれば、受験が可能だ。

司法試験予備試験に関しても、司法試験と同様、年齢制限も受験資格による制限はなく、誰でも受験可能な試験になっている。

いかに早く予備試験を突破するかが、司法試験の早期合格の鍵といえる。

法務省によると現行の司法試験制度に移行してからの最高齢合格者は71歳となっている。

例年の最高齢合格者は60代後半が多くなっている。

このように高齢で合格するのは退職後もしくは働きながら勉強を継続して、法科大学院に入学しもしくは司法試験予備試験に合格して司法試験を受験する人が多い。

このように第二の人生として法曹を選択される人も多く、法曹への道は幅広く開かれているといえる。

米女性は花束を買った後、そつと店主に手渡し「本当に必要な人に渡して」と言ってお立ち去った

アメリカでフラワーショップを営む店主が、インスタグラムで発信したほっこりするエピソードが感動の輪を広げている。

店主のエミリーさんは、いつものように店で働いていた。

すると店を訪れた女性客が花束を購入。お金を支払った後、その花束をエミリーさんに渡し、こう依頼した。

「この花束を、誰か本当に必要としている方に渡してもらえませんか？」

隣の店の店員もこのやり取りを聞いていた。女性が店を去ったのち、2人は彼

女の見知らぬ人への思いやりに感動し顔を見合わせた。

そしてエミリーさんが「一体、誰に渡せばいいものだろうか」と尋ねると、その店員は「その時がくればきっと分かるよ」と答えたという。

なるほど、焦ることはないよとエミリーさんは悟ったが、花の命は長くはない。

するとその日の夕暮れ、エミリーさんが店じまいのため、かたづけ仕事をしていると、駆け込むように急ぎ足で女性客が来店してきた。

そして「葬儀用の花束をお願いします」と依頼した。女性は義理の姉妹が先日、乳がんで亡くなったと打ち明けた。

その瞬間の気持ちをエミリーさんはこう語る。

「まるで電球がパツと光ったような感覚でした。」

『この女性こそ、1日中、待っていた

花束を渡す相手なんだ』とすぐに理解できました」

この感動的なエピソードはネットで拡散、多くの人々の心を揺さぶった。

いい香りを放ち美しい花はそれだけで、人の心を和ませる。その花を自分のためにでも家族や友人のためにでもなく、見ず知らずのただ「必要な人に渡して」と言って代金を払うアメリカ人がいるということ自体に感動を覚える。

自由社会のアメリカは、それがゆえに過酷な競争を強いられる社会だ。そのためには競争相手を蹴落としたり、ネガティブ情報をばらまいて弱点を暴き足を引っ張るなど過当競争の負の側面が共同体を分裂させる力になったりする。

一方で、アメリカには深いキリスト教社会の倫理観が根ざしている。キリスト教の本質は、「神を愛するように隣人を愛せよ」という隣人愛だろう。その究極の隣人愛を、花束に込めた女性客の行為にアメリカの底力を感じる。

自己犠牲をいとわず、他者のために心から奉仕する人は社会のコミュニティーの結束を強めるからだ。

KC フラワーのインスタグラムから



音楽は人を強くさせる

●ベルカントジャパン合同会社代表 今瀬康夫氏に聞く●

「英国国王陛下の近衛軍楽隊」の日本公演を20年間、続けてこられたベルカントジャパン合同会社代表の今瀬康夫氏にその魅力と音楽のパワーを聞いた。今瀬氏は近衛軍楽隊制服である赤の上着と熊皮の黒帽子の意外ないわれを語った。

——英国国王陛下の近衛軍楽隊の日本公演を長年、続けておられます。

今回の訪日では、大分のichiko総合



いませ・やすお 1954年(昭和29年)8月4日、島根県松江市生まれ。国立音楽大学卒業。フリーのホルン奏者として、全国のプロオーケストラの他、シンガポールシンフォニー、王立バンコクシンフォニーやロシアカレリア交響楽団などと呼ばれる。ロシア国立極東連邦芸術大学名誉教授、瀋陽音楽学院客員教授、平成音楽大学講師。趣味はゴルフ、スキー、スケート。サッカーは三級審査員。

——多忙ですね。そもそも行進する兵隊さんは体力はあるし、合唱団やオーケストラのように、わがままを言うことはありません。軍楽隊には階級があるので、右向け右と言えば、パツと右を向きます。

指揮者が最上階級？
指揮者が少佐、メンパーは少尉から下になります。自衛隊音楽隊

も大体そうですね。

演奏レベルは世界でもトップクラスで陸上自衛隊中央音楽隊メンバーも聴きに来るほどのバンドです。

——今回、自衛隊との交流はないのですか。

交流会のようなものはありませんが、ただ以前もそうでしたが、大阪の中部方面のメンバーや中央音楽隊のメンバーがかなりいらつしやると思います。

——「ギターを持った渡り鳥」じゃないけど、その国際版みたいですね。

ただこれだけの規模の軍楽隊となるとトラブルはつきものです。今回も11月になってからトロンボーン奏者が病気になるって行けなくなつたと連絡がきました。全員、就労ビザで訪日するのですが、ビザ申請をロンドンの日本大使館の領事部に出して、あとはビザを張り付けてく

れるだけというタイミングで、このトラブルは発生しました。

ただしこの時は、ロシアで日本大使館勤務だった友人が、たまたま10月からロンドンの日本大使館に異動になっていて事情を話すと、すぐに領事部に掛け合ってくれて、至急、新しいメンバーのワーキングビザを出してくれることになりました。

——出会いというのは不思議です。急を要するときに、人間関係で切り抜けることができたりします。さて音楽は人の心を溶かし、国境を超えて人をつなげるパワーもあります。音楽の世界を歩き歩いておられる今瀬さんは、その音楽のパワーを目の当たりにしておられます。

国々で音楽の味わいが違います。使う譜面は一緒ですが、プロ奏者は出る音が微妙に違うんです。それでみんな1つの曲を演奏するという時には、みんなで聞きあうことになりました。

隣の音を聞きながら、その音にぴったり合わせていくのです。そうしてやっとバランスのいい調和やハーモニーが生まれてくるのです。

その作業は、外国人とでも大体、同じことができるのです。その時に大事なのが、しゃべれるか、しゃべれないかです。僕は学生の頃、1カ月ぐらいイギリスに行ったので、その時、英語をしゃべれるようにならなきゃと思って、毎日、外を歩きながら知り合いをみつけては実践英会話を積み上げていった経緯があります。その功あつて英語での会話はなんとかなるのです。

だが中国に行ったとき、英語が通じない。それでもノートに漢字を並べていくことで筆談による意思疎通が可能。そういう手段も使いながら、なんとか演奏までこぎつけたことがあります。ロシアでは英語も若い人だと通じたりしますが、年配者には通じません。ただチャイコフスキーなどロシアの曲をやるときは、頑張つてやるし、その意味では譜面さえあれば一緒にできるのです。

——譜面こそは最大の共通言語です。そうですね。

音楽は人を強くさせるのです。一方、軍隊の音楽というのは古くから政治的なものが含まれてきます。一番、

欧州を驚かせたのはトルコです。トルコ軍がウイーンを包囲した時、24時間、トルコの軍楽隊が大音量で演奏したのです。トルコの軍楽隊の曲は全部、短調です。お前ら、これから殺されるんだろ、悲しいなと畳みかけるのです。短調というのは沈みこむような陰鬱で悲しい曲風で、相手のやる気をそぎ落とします。そのためのトルコ軍楽隊だったのです。

——音楽を武力にした？
そうですね。

これが2カ月、3カ月と毎日毎日続いていったのです。市民は恐怖にさいなまれ、眠れなくてほとほと嫌気がさしていったのです。

結局、100日包囲されながら何とか持ちこたえました。

それを音楽に仕立てあげたのが、100年後のモーツァルトのトルコ行進曲だったのです。

出だしのメロディーは暗いのですが、後半は明るく転換していきます。トルコ軍に勝つたぞという音楽なのです。なおイギリスの軍楽隊はバグパイプを

天皇皇后両陛下を Buckingham Palace でお迎えした
(2024年6月) 誇り高き英国近衛軍楽隊

英国国王陛下の 近衛軍楽隊

《ゴールドストリーム・ガーズ・バンド》

音楽監督・指揮: ジャスティン・テガーティ少佐



東京公演迫る!!

威风堂々、
アメイジング・グレイスから
情緒溢れるスコットランド民謡まで、
珠玉の名旋律集予定!!
(曲目の詳細は当日発表いたします。)

2024
12/2 (月) 19:00開演
東京オペラシティコンサートホール

(京王新線「初台駅」徒歩5分)
●料金(税込)
SS席 10,000円 (30席限定)
S席 8,500円 A席 6,500円 B席 4,500円

●お申込み
東京オペラシティコンサートホールチケットセンター
03-5353-9999
チケットぴあ t.pia.jp (Pコード: 279-230)
イープラス eplus.jp (Lコード: 81910)
ローソンチケット l-tike.com

主催: ベルカントジャパン合同会社
後援: プリティッシュカウンスシル/一般財団法人日英協会

特別共演
スコッツガーズ
バグパイパー

全国好評発売中

*未就学児童の入場はお断り致します。 *料金はすべて税込み。
*曲目、出演者に変更になる場合がございます。 *公演中止の場合を除き、ご購入いただきましたチケットの払戻しはできません。

THE KING'S GUARDS REGIMENTAL BAND

使って、フランスや北欧と戦争した時に、まず音楽隊を一番先頭において攻めたてていくのです。

丈のある黒熊の帽子をかぶっているのは、大きく見えるからです。相手に怪物のようなイメージを植え付け恐怖心をあおるための心理戦を展開しているのです。

バグパイプはすごい大きな音がします。一個でもホール中鳴り響くぐらい大きいのです。そのバグパイプが複数あると、相手はすごい音量だから、人数もすごいのだろうと、これも恐怖心をあおる手段としたものでした。

それで軍楽隊は、一番先頭を歩くから弓とかで撃たれるターゲットになります。命中すれば倒れます。ただ弓矢が刺さって血が出て倒れても、真つ赤なジャケットで変わらなから、味方の兵士の士気が落ちないのです。それが軍楽隊の制服が白だったら、前の軍楽隊がやられて上半身、血染めだとなりますが、そもそもジャケットが赤の軍服だから、血に染まっても色が変わることがないので。そのための赤色でした。

軍楽隊は先頭を行くので、死ぬ確

率は高いのです。

一方、フランスの「ラ・マルセイエーズ」など、自分たちの軍隊を鼓舞する音楽もありました。

ロシアのチャイコフスキーは「1812年」という音楽を作りました。それはロシアがフランスに勝利したぞという、最初は「ラ・マルセイエーズ」で始まり、最後は大砲の弾を象徴するドーンという音で終わる音楽です。

——戦争史を音楽にしたわけですね。

ロシアがウクライナを攻め始めたころ、普通のオーケストラの演奏会でたまに序曲にその「1812年」が入ったことがありましたが、それはさすがに変えた方がいいのじゃないかと、いうことになったことがあります。「1812年」はロシアを讃える曲だから、変更されたことがある。音楽そのものは素晴らしいけども、音楽に政治が絡んでくるのは避けたいものです。

ロシアの音楽は優しいし、一般庶民も優しいのですが。

——音楽の世界に入ろうと思った経緯は？

吹奏楽をやっていた兄の影響です。兄はホルンを吹いていました。私もその流れでホルンを習ったのです。

それで読売交響楽団のアンサンブルで、レッスンしてもらった機会がありました。そこでホルンの先生から「お前、芸大に行きたいんだらう」と聞かれました。

私は「いえ、京大志望です」と答えると、先生は「京大に入って何になりたいのか」と突っ込んできました。

私は「京大法学部に入って弁護士になるのが夢です」と答え「弱きを助け強きをくじき、それに弁護士は給料もいいですから」と率直に答えました。

すると読響のホルンの先生は「どの位もらえるの」と聞くから、私は「いやー4、50万円ですかね」と答えました。

先生は「ちよつと待て、それはすごいな。だけど僕はホルン一本で、先月の稼ぎは60万円」とたたみこんできました。

詳細は「オケの給料が35万円、日本テレビとか録音業務で25万円だ」ということでした。

私は思わず「えっ」と、正直驚きました。それで一浪して国立音楽大学に入った

と先生に報告したら、「よし手帳を出せ」と言っただけの手帳に仕事のスケジュールを書いてくれました。

——大学一年生から本格的な演奏バイトですか。

はい、大学に受かった途端、仕事が勉強だ、とスケジュールを入れられました。

当時の家からの仕送りが月4万円だった。アパート代が1万8000円。

「なんとかやっているか」と聞いてきました。「うん、なんとかやっている」と答えたことがあります。さだまさしの歌「案山子」の世界でしたが、実は4月の稼ぎは25万円ありました。

——当時の25万円ですからね？

英国に行ったとき、英語の勉強をして英会話ができるようになったというのは先ほど、話しました。

ロンドンに約1カ月、滞在したから大抵、町の人と顔見知りになります。それで挨拶から始まり、最初はただたどしくても話すようになることで、「実地会話レッスン」で英語を身に付けたのです。

それで帰国して普通にホルンの仕事し

ていましたが、たまに指揮者とか外国人が訪問してくると、英語が喋れるということ通訳を依頼されたりしたのです。

軍楽隊が来た時など、舞台のこともわかっていないから、ツアーの間、一緒に来てくれないかといわれ同行するようになりました。

その興行をしていた会社が20年ぐらい前に倒産したのです。すると隊長が私に「お前の所で、軍楽隊を呼べるようになってくれないか」と依頼されたのが、私が本格的に「英国国王陛下の近衛軍楽隊コンサート」を手掛けるようになった経緯です。

——世界中を回って印象深い音楽との触れ合いは？

やはりロシアですかね。

ロシアでは日本と違って、音楽が義務教育の科目に入っています。あくまで音楽は選択科目になるのです。欧州もそうです。それが日本だと誰でも、5線譜が読めます。アメリカに行ってもウィーンに行っても、普通の人は5線譜を知りません。選択でとった人だけ5線譜が読めるのです。

——ロシア音楽は明るさというより、哀愁といった印象が強いのですが。

音楽というのは地域性が強いものです。北にあるロシアという土地は、食べるものもない厳しい気候で寒さに耐えに耐えてといった過酷な状況だから、そうしたものになりやすいのです。

一方、スペインとかラテン系は明るいのです。

——スペインだって悲しい音楽はすごいがあります。

あれは振られた悲しみですね。

——日本は。

北と南では様相が違います。沖縄だとか九州といった西では、明るさが目立つのですが、東北だと厳しい気候風土で、津軽三味線とか暗く陰鬱な情感が出てきがちです。

これは世界的にも同じで、マレーシアとかインドネシアに行くと実に明るくて、ンポも軽快です。

専門的に言えば、音階自体が明るい音階を使うからです。東北やロシアは短調の陰鬱で悲しい音階です。風土によって曲調は変わってくるのです。

犯罪の被害にあった

たいせつなひとを失った

それはとても辛く悲しいことです

私たち被害者支援都民センターは
犯罪被害にあわれた方の
刑事手続きや心理的回復の
お手伝いをしています

いままでの生活を取り戻し
一歩を踏み出せるように
ともに寄りそい
支えになります

一人で苦しまないで
安心してご相談ください



東京都公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体 東京都総合相談窓口

公益社団法人

被害者支援都民センター

Victim Support Center of Tokyo

電話相談 *相談者の秘密は守られます

03-5287-3336

月・木・金	午前9:30～午後5:30
火・水	午前9:30～午後7:00
(祝日・年末年始を除く)	

相談・支援
無料

<http://www.shien.or.jp>

都民センター 検索

当センターでは、賛助会員・ご寄附を募集しております。皆さまの温かいご支援をお待ちしております。

事務局 03-5287-3338

公益社団法人
Victim Support Center of Tokyo



日本の皆さんは中国に対して、「広大な領土を有する五千年以上の歴史を誇る国である」と幻想を抱いている。実際は、今の中国領土の63%は中国が戦後、侵略した領土であり、歴史的にはあの広大な領土というのはずが1950年代以降、中国が物理的に侵略し支配したのにすぎない。

現に、日本はかつてシナ大陸で日清戦争を戦ったが、我らチベット人や東トルキスタンの人々はこの戦争には加担していない。「中国五千年の歴史」というのも、中国の文献による捏造と虚言によるものであって、中国は24回も王朝が変わっている。歴史上において、むしろ我ら西や北の民族が中国を

深刻な状態を訴えても、経済的にも中国に依存度が高くなったネパール政府は認めようとしない」と、調査団関係者は悲しみを込めて外国のメディアに訴えている。同様のことがインド国境付近やブータン国境付近でも行われている。最近、チベット本土を訪ねた海外在住のチベット人によると、インドとの国境ならびにブータンの国境付近には、中国が新たな団地を建設し、そこに遊牧民を定住させ、彼らの生活圏を奪い、彼らの土地には逆に中国人が移住し、周辺の地下資源を民間ではなく国家が発掘し始めているという。これらの団地には立派で近代的なビルを建て、ネパールやブータン、インド側の住民が羨むような近代的な都市を築こうとしている。中国の領土拡張は陸ばかりではなく海でも、フィリピンやベトナムなどの係争中の島々においても既成事実をつくり、海の万里の長城を築こうとしている。

※
なお、海に関しては、中国はさらにかつては謙虚に、「第一列島線まで自己の防衛線において核心的利益があ

新長城には「中国の赤い野心」が

侵略し、傀儡政権をつくった事実もある。ましてや、「中国」という名前は、1911年、辛亥革命以後の名称であって、それまで広大な中国という国は存在しなかった。その証拠に、中国の資料によれば、中国は7世紀から明朝時代にかけて、2万1196^{キロメ}に及ぶあの長い万里の長城をつくったのは他国の侵略からの防衛手段のためであり、その目的を果たすために労力と大金を費やしてつくったものだ、とある。しかし、その万里の長城を越えて侵略したのは中国であり、さらに、中国は新たな鉄とコンクリートの長城をヒマラヤ領域から築いている。そして、海においても新たな領域をつくろうとしている。ヒマラヤ地域においては、私が世界日報の10月29日号に書き下ろしたものを少し長い、引用させてもらいたい。

※
中国はヒマラヤ山脈の聖地において有刺鉄線とコンクリートの城壁を築き、柵を一方的に設置した。世界で最も孤立した場所の一つである所に、中

国は防犯カメラの監視塔を建て、武装した兵士を配置した。また、チベットの高原地の丘の斜面に、180^{メートル}の長さの「中国共産党万歳」というメッセージを書いた横断幕を張ったのである。また、この周辺の住民はチベット系ネパール人であり、彼らの家庭においてダライ・ラマ法王の肖像画が仏壇に飾られていることに対して中国側は取り締まろうと圧力をかけた。さらにかつてはこのルートを使って千人単位のチベットの人たちが中国の弾圧から逃れ、ネパールに密かに逃げてきたが、最近ではほぼそのようなことは消えてしまったと、現地の人たちからの情報がある。そして、これらのことをネパール政府に訴えようとした住民たちの指導者はその職を失ったという。

これらの問題に対して、2011年、ネパール政府の調査団が中国の国境侵害についてレポートを政府に提出しているにもかかわらず、その文章そのものがどこかに消えて、政府高官でさえも見ることができなくなったと言われている。「これは中国の新しい万里の長城だ」という認識を持ってその

万里の長城は領土防壁だったが

る」と言っていたのが、今では南シナ海、東シナ海に人工島などをつくり、主権国の国々の漁船を強制的に排除して、伊豆諸島・小笠原諸島を含む日本の領海、フィリピンの領海、ベトナムの領海などインドシナの国の一部の主権を無視している。また、事実上の主権国家である台湾をも自国の領土であると言いつつ、日本の尖閣諸島などは台湾省の尖閣諸島だと堂々と主張している。まさに、中国はここに「海の新たな大方里の長城」を築こうとしている。

かつて2016年、国際的に尊重されている法律専門家たちによって、中国に対するフィリピンの上訴に対し、ほぼフィリン側の主張を認める判断が下された。それに対し中国は、それを紙クズだと言いつつ無視した経緯がある。いみじくも、今、マルコス大統領のもと、フィリンは精一杯抵抗しているし、10月に誕生したインドネシアのプラボウォ大統領も、フィリン同様に抵抗し始めている。

残念ながら、日本は憲法上の制約な

どを受けて、中国に対し口頭で抗議する範囲で甘んじている。今回の日本の総選挙によって政権が軟弱になったことよって、中国は今後ますます凶に乗ってくる可能性が大きいと私は懸念している。例えば、中国は10月、日本の総選挙やアメリカの大統領選挙などで日米の国内が混沌としている最中に、台湾を恐喝するような大規模演習を行った。

日本のマスコミはあたかも、台湾総統の発言が中国を挑発したような報道をしているが、私はそうではなく、中国が得意とする火事場泥棒的な行為にすぎないと信ずる。かつての中国の万里の長城は、中国を守るための防壁であったのに対し、新しい中国の長城は、他の主権国の領土・領海を奪うための拡張主義、覇権主義の証と見るべきだと考えており、これらの周辺の国々が、我がチベットや東トルキスタン、南モンゴルの二の舞いにならないことを切に願ひ、眠りから目が覚めるべきだと警鐘を鳴らしたい。

—日本新秩序へ—

松田学の国力倍增論

松田 学

代表 議員 表
所 議 代
院 前
策 議 党
政 衆 政
田 衆 政
松 元 参

第25回

世界政治の新潮流は草の根SNSとグローバリズム

最近、日本でも世界でも、選挙のたびに、従来の常識が覆される事態が起きている。欧州議会選やドイツ地方選での「極右」？の台頭、都知事選での石丸現象、総選挙での自民党の惨敗、トランプ氏が

大勝した米大統領選…そして兵庫県知事選では「パワハラ、おねだり」と叩かれて失職した斎藤元彦前知事が勝利を収めた。ついに草の根SNSが大手マスコミに勝った！この知事選は、政治を国民の手に取り戻す象徴的な出来事かもしれない。

マスコミの終焉と草の根SNS

2022年は、マスコミによる無視の中で国民の間に「参政党現象」を起こしたSNSが、2024年は石丸現象をもたらした。トランプ氏勝利も、メディア報道の欺瞞に米国民を気付かせたSNSの力が大きい。マスコミは本当のことを報道していない：兵庫県知事選では県の既得権とメディアによる弾圧にもめげずに改革を貫こうとした斎藤氏に有権者の関心が高まり、前回より高い投票率で無

党派層が同氏を当選へと押し上げた。一人一人の投票行動が政治を変えられる。今回の知事選のメッセージはこれかもしれない。

他方で、自らが創作した筋書きと反する事実には「報道しない自由」を行使し、偏向報道で政治を左右してきたメディア側には深刻な反省が迫られよう。今回は、大手新聞社の記者たちが自分たちには不都合な事実の口封じのために、取材源の兵庫県庁幹部に圧力をかける姿がSNSで暴露されている。元県民局長が使用していた公用PCの中には、「斎藤知事のパワハラによる自死」との筋書きを覆す倫理上の問題が含まれていたようだ。

一連のTV報道自体、パワハラや特産品云々との内容に不自然さがあったし、異常なバッシングとの印象が拭えなかった。どうも、斎藤氏を追い落としたい人々が情報戦を仕掛けてマスコミが乗った？県政改革を進めた斎藤氏は、天下りをやめさせ、予算千億円の庁舎建て替えを凍

結、事業よりも教育に予算をと考え、役所が得する予算の配分を見直して若い県民に還元する方向に県政を進めた。これが前知事までの間に県政に巣食った既得権益からの猛反攻に遭った：多くの有権者にこうした認識がSNSによって広がったようだ。

各国の主権を超える支配構造、グローバリズムとは

ただ、最近の新しい政治現象はSNSだけで説明できるものではない。もはや世界の政治の対立軸は、かつての「右か左か」ではなく、「上か下か」であり、「上」とは、グローバリズム勢力をバックとする既得権益集団であり、これに「下」、つまり草の根国民運動が対抗する図式が欧米で大きな潮流変化を引き起こしてい

る。米大統領選で反グローバリズムの立場のトランプ氏が大勝したことは、この流れを決定づけるものといえよう。

では、グローバリズムとはそもそも何なのか。その思想的な淵源は、ヨーロッパ中世における「唯名論」にあるとされる。これは、例えば人間も国家もそれぞれに異なる個性のものとして存在しているが(実在論、これを捨象して人間を「人間」という類型としてしか考えないのが唯名論だ。アダムとイヴは禁断のリンゴを食べた、だから、その子孫である「人類」は全ての人が「原罪」を背負っている。自分はそんなことをしていないと言っても、個々人の人格は否定され、あなたも「人間」なのだから罪を償いなさい、となる。

こうした

キリスト教の世界的な布教に伴って、植民地主義というグローバリズムが世界

を支配した。諸国家の独自性を捨象して全てを「階級」という概念で捉え、どの国も共産主義革命をもって進歩すると考えたマルキシズムもグローバリズムといえる。今、それは、かつて黒人を奴隷とした白人は全員が罪を負うとして糾弾するキャンセルカルチャーなど、「差別反対」との大義で各国の文化や常識を破壊するポリコレの形で引き継がれている。

グローバリズムは様々な形で世界を席巻してきたが、特にベルリンの壁が崩壊し、かつての社会主義圏が市場経済に編入された90年代以降、それは、本来異質である各国の独自性を否定し、これを競争型市場経済などの原理で同質化する過程で利益を上げるといふ新たなイノベーションの形をとって、米国を軸に世界を支配する潮流となった。

冷戦終了後の米国一極支配のもと、グローバリズム勢力は米国のいう国家を使いながら、90年代からは金融、21世紀入り以降は競争利権(ネオコンと軍産複合体)、そしてITや環境(脱炭素)、さらにはコロナパンデミックで正体を現した医産複合体が、国家よりも上位に立ち、



【プロフィール】1981年東京大学卒、同年大蔵省入省、内閣審議官、本省課長、東京医科歯科大学教授、郵貯簡保管理機構理事等を経て、2010年国政進出のため財務省を退官、2012年日本維新の会より衆議院議員に当選、同党国会議員団副幹事長、衆院内閣委員会理事、次世代の党政調会長代理等を歴任。その後、未来社会プロデューサーを名乗り、言論、発信活動を展開。2020年に参政党を結党し、22年7月～23年8月に国政政党としての同党代表を務めた。

国家主権や民主主義を軽視しつつ、国境を超えて自らの利権を拡大してきた。

彼らに支配された米民主党政権や主要メディアは彼らに都合の良いプロパガンダ情報を流し続け、それをそのまま垂れ流す日本の報道に洗脳された日本国民は、グローバリズムが引き起こしたウクライナ戦争の本質が見えないまま専らロシアのみを悪と決めつけ、諸外国が既に接種をやめている新型コロナウイルスに疑問を持たずに海外製薬利権に奉仕し、もはや各国で転機を迎えた脱炭素がエネルギー政策の至上命題と信じ込まされている。

トランプ氏の勝利が加速する 国民国家革命の新時代

グローバリズムはDS（ディープステート）と結びつけて語られるが、この言葉を使用する者には「陰謀論者」とのレッテルが貼られてきた。DSこそが敵だと公言するトランプ氏が国民に支持されたのは、もはやこれを陰謀論として片付けられない現実に直面した諸国民に気付きが広がった証左であろう。同様の現象が欧州でも、未だメディアによる「極右」と

のレッテル貼りのままの「愛国国民主義」の台頭で、政治情勢を激動させている。

実は、トランプ氏の政策は、ウクライナ戦争の即時停戦も、前大統領時のWHO（世界保健機関）パンデミック全体主義（脱退の方針も、行き過ぎた脱炭素の見直し（同じくパリ協定脱退）も、参政党の立場とほぼ同じである。問題は、日本の国政政党の中で他に、こうした反グローバリズムに立つ政党が存在しないことにある。現に、グローバリズムの意味すら知らない国会議員が大半だ。グローバリゼーションは良いことではないか、程度の認識である。前者が主義主張や行動様式を指し、後者が事実としての現象を指す点で、両者は異なる。

近年、国際化（インターナショナルイゼーション）という言葉がいつの間にか「グローバリゼーション」に置き換わってしまった。後者は国境の存在を否定する立場だが、前者は各国家の存在を前提とするからこそ「国」+「際」なのである。トランプ次期政権は、20世紀前半から対外介入主義と利権だらけの大きな政府の国になった米国を、非介入主義の小さな政

府という250年前の建国時の原点に戻すための「革命」を遂行しようとしている。

「アメリカファースト」とは、どの国もグローバリズムに支配されず、「自国ファースト」であれということを意味する。その上で、各主権国家が独自性を尊重し合うことから国際社会の調和を目指す。世界の新潮流とは、この当然の常識を取り戻すことでもある。トランプ氏の「革命」を契機に、これからは「国民国家革命」の新時代が訪れるのではないか。

トランプ氏が大統領に就任する2025年、日本は戦後80年の節目の年を迎える。そろそろ戦後の歴史認識を見直し、グローバリズムによるプロパガンダから国民が脱却して国家意識を取り戻すべき時期であろう。かつて、黒船という当時のグローバリズムに抗して明治維新で国民国家を創り、アジアを植民地から解放するとの理念で大東亜戦争を戦った結果、世界から植民地が消えた、そんな反グローバリズムの輝かしい歴史を持つ日本がいま、世界を先導すべき時代を迎えている。日本の政治家たちが心すべきことではないか。



自民党

補正予算

【森山幹事長】役員連絡会の概要ですが、以下は私からの報告です。首班指名において、無事に石破総理を選出し、先週、特別国会が閉会となりました。改めて感

森山裕幹事長



森山裕幹事長

記者会見 11・19

謝申し上げます。今後、政府や各党ともしっかりと連携しながら、経済対策を取りまとめ、臨時国会に向けて、速やかに補正予算の議論を行っていきたくと考えています。

名古屋市長選の投票日まで5日となりました。わが党は、前参院議員の大塚耕平候補を推薦しています。必勝に向け、党として最後まで全力で取り組みたい。

小野寺政調会長からは、経済対策については、先週、2回の政調全体会議、4時間に及ぶ議論を行い、他党との調整を含め、取り扱いを私にご一任いただきました。国民民主党とは11月8日以来、昨日までに、政調会長間や、公明党を加えた3党の枠組みなど、計5回にわたって協議を行い、かなり論点も絞られてきています。今年中の補正予算成立のためには、残された時間も限られていますので、早期合意に向けて、引き続き努力していきます。

自民、公明、国民の合意が整った段階

で、政府側から与党に対して経済対策の最終案が示されることとなります。その際は、速やかに政調審議会で審査を行い、了承した場合には総務会にお諮りしたいという発言がありました。

【記者】政治改革に関連して2点、お尋ねします。今朝の二幹二国で、森山幹事長から野党各党に対して政党間協議を呼び掛ける方針で合意したというブリーフィングがありました。立憲、維新、国民、共産、れいわに呼び掛けるということですが、この狙いについて教えてください。また、野党側が求めている企業団体献金の廃止について幹事長のお考えは。

【幹事長】今朝の公明党との二幹二国で、各党にも呼び掛けて政治改革の方向性を明確にすることは大事ではないかということでしたので、各党にお願いをしてみたいと考えています。あと、企業団体献金については、企業団体も社会を構成する一員であり、個人と同様に憲法で保障されている、政治活動の自由が認められているというのは一般的な法の解釈ではないかなと思います。従いまして、企業が個別企業の利益のためではなくて民主

主義の健全な発展やSDGsへの取り組みなど、社会貢献の一環として自主的な判断で献金を行うことまで妨げるものではないのではないかと考えています。

【記者】旧文通費について2点お伺いします。まず、調査研究広報滞在費、いわゆる旧文通費の改革について、参議院で議長経験者から意見を聴取する予定ですか。これについて幹事長はどのような議論を期待するか、また、政治改革本部で政策活動費の取り扱いなど議論されていますが、自民党としての政治改革案はいつごろにまとめるお考えですか。

【幹事長】旧文通費については、使途公開が大事だと思いますし、未使用の部分の国庫返納などについては、与野党間で協議が続いていると承知しています。与野党間で早期に結論が得られるよう、自民党としても真摯に対応してまいります。

【記者】政治改革本部で検討を進めている自民党の政治改革案、これに策定のメドはあるのでしょうか。

【幹事長】年内の成立を目指しているということですから、出来るだけ急ぐとい

う事だと思えます。

【記者】今回の外遊で、石破総理とアメリカのトランプ新大統領との面会が先送りになったことについての受け止めをお聞かせください。

【幹事長】トランプ氏側からは「法律上の制約もあり、現時点ではいずれの国とも会談を行わない」との方針が伝えられたと理解しています。これによって見送られることになったと承知しています。ただ、米国とは、先的首脳会談において、揺るぎない日米同盟を今後もさらに発展させ、緊密な連携を図っていくことを確認したと伺っています。次期政権との間でも、強固な信頼関係の下で、日米同盟をさらに高みに引き上げ、様々な協力を進めていくことは極めて重要だと考えています。

【記者】兵庫県知事選に関連して伺います。最近の選挙では、SNSが情報源となって選挙情勢に影響するケースが相次いでいます。兵庫県知事選でも事実と異なる投稿で有権者が混乱したり、候補者への批判や称賛が大量に拡散されるなどの混乱が見られました。こうした状況

党の皆さんのお考えもすっかりと伺いながら、対応を検討していきます。

【記者】玉木代表が求める178万円まで、もし仮に引き上げた場合、今、おっしゃったように税収が大幅に減るとして一部の地方から反対の声があがっています。現時点で、この178万円への引き上げについての実現可能性についてのどのようにお考えですか。

【幹事長】今、協議中ですので、私が申

に対して、なんらかの法規制など踏み込んだ対応を議論する必要があると考えているかどうかという点と、また、こうしたネット発の動きで情勢が決まってしまうのは、裏を返せば既存政党への不信感の表れではないかとの指摘もありますが、この点についてお伺いします。

【幹事長】選挙の結果や選挙運動の影響については、まずは兵庫県選において分析してもらいます。また、今回の結果を踏まえて、来年の参院選に向けて不断の改革努力を重ねていかねばなりませんし、わが国が直面する内外の重要課題を1つ1つ解決することで、国民の皆様の信頼回復に努めていきたいと考えています。また、SNS等の影響がどうだったのかにつきましては兵庫県選が分析されると思いますので、その意見をしっかりと受け止めて考えていきたい。

【記者】国民民主党は103万円の壁の見直しによって減る税金について、代わりの財源は与党が考えるべきとの主張をしています。それについての受け止めをお聞かせください。また、税収減の補填について何かしらの措置を検討する考

し上げるとは慎重であるべきだと思いますが、財源が地方自治体にとっては非常に厳しい状況になってくるなどと思えますし、国が何か補填できる状況にあればいいんですが、国も同じように減収になってしまいますので、さあどうするかというところが今からの議論だろうと思います。

えはありますか。

【幹事長】現在、両党の政調会長・税調会長の間で協議を進めています。協議が円滑に進むよう、取り組みたいと思っています。税収減につきましては、全国の地方自治体において、特に東京23区や政令市において大きな税収減となることから、行政サービスへの影響を不安視する声が上がっていると承知しています。税収減分の財源措置については、国民民主

米国のトランプ次期大統領と会談した

いとす石破首相の要請が見送りとなった。

森山裕幹事長は「法律上の制約もある」と述べ、やむを得なかったと強調。

その上で、「日米同盟をさらに高みに引き上げる」方針

を示した。

トランプ氏が

最も警戒してい

者ム
記コラ

幹事長訪中は日米同盟強化と矛盾

中国の習近平国家主席との会談(15日)では「かみ合った議論ができた」

るのは中国で、対中強硬派のマルコ・ルビオ上院議員を国務長官に、マイケル・ウォルツ下院議員をホワイトハウスの国家安全保障担当補佐官に起用するなど対中包囲網構築人事を行っている。今後、

外交を再構築し、日中政府間外交を補完しようというのだ。党間交流とはいえ、日米同盟強化と矛盾する疑いが濃い。日米関係を分断したい中国にとっては歓迎すべき訪問となる。

と「成果」を強調していた。だが、米国の対中戦略とは何か、トランプ政権が日本に何を望んでくるのかを精緻に分析して対処する準備と覚悟がなければ、日米同盟が危機に瀕することになる。

立憲民主党

小川淳也幹事長

記者会見 11・12

政治とカネ

【幹事長】昨日、国会の議場で自民党が過半数を割るのはこういうことかなと体感しました。野田代表以下私どもが、中心線から議場に向かって左側に食い込んでいるということを重々しく感じたのが第一印象でした。



小川淳也・立憲民主党幹事長

しても協議を呼び掛けていく。内容としては経済対策について自公の案を説明したり、立憲や維新から考えを伺うと小野寺政調会長が語っていましたが、この呼び掛けがあった場合、どう対応されますか。

【幹事長】補正予算、経済政策についても基本は政治改革と同様です。非公式な談合と見られかねないような対応については抑制的です。早期に臨時国会を開会して予算委員会を含めて公開の場で協議していくのが基本です。

【記者】昨日深夜の石破総理の会見の中で、具体的な改正項目として政策活動費の廃止、旧文通費の使途公開と残金の返納、第三者機関の早期設置、データベータ化の構築を挙げました。立憲と重なっているところと、そうでない足りないところもあると思いますが、どう評価しますか。

【幹事長】やれるところからやって成果を出すべきだと思います。しかし、抜けているのが企業団体献金の廃止です。ここについては、30年前の約束です。今回の金権、腐敗政治の温床でもあり、わが

それから、決選投票で石破総理が221票で、絶対過半数に届いていない。少数与党政権の実像がこれから浮かび上がるにせよ、石破政権は233の過半数に届かない政権だと痛感しています。また、84票という無効票は憲政史上初ではないでしょうか。私どもの努力は実らなかったという批判を受け止めるにしても、有権者も各選挙区の投票所に行き、無効票にならないよう投票している。84人もの人が無効票を投じたのは非常に残念です。その責任をかみしめてもらいたい。

わが党は両院総会を行いました。新人が3分の1近くを占め、活気があり、エネルギーグッシュである一方、党執行部として引き締めて党運営、国会対応を進めていく責任も感じています。昨日の役員会の報告ですが、委員長人事に伴い、後任のネクストこども政策担当大臣に高木真理さん、ネクストデジタル行政・公務員改革担当大臣に中谷一馬さん、ネクスト外務・拉致問題担当大臣に武正公一さん、ネクスト環境大臣に篠原孝さんへの変更がありました。

【記者】今後の政治改革の進め方について党としては廃止に向けて野党各党に呼び掛けて迫っていききたい。

【記者】企業団体献金について、石破総理は昭和の時の最高裁判例を持ち出して政治活動の自由との兼ね合いで消極姿勢を示しています。立憲としてはこうした主張をどうとらえているのかと、どのように必要性を訴えていますか。

【幹事長】まず、30年前に300億円のお金を国民からいただいた政党を養う政党交付金制度ができ、その時に企業団体献金を廃止しますといったことが約束です。30年前の約束が30年経ったから反故にされるといったことでは決してない。石破さんが政治の信頼回復とおっしゃるなら、まずそこからやってくださいと申し上げたい。

それから、それを推進する人たちが「企業にも政治活動の自由がある」と常とう句で言います。企業には一票はありませぬ。民主主義は資金力によって政治的影響力に差が出るのを極力制約することで初めて成り立ちます。どんなお金持ちもどんなに生活が貧しく苦しい人も等しく一票を持っているという前提で出来上が

てです。昨日、野田代表は最後は自民党と立憲民主党が党首会談で合意しなければならぬと話していました。一方、国民民主党の玉木代表は公明党と会談後、与野党協議会を設置する必要性で合意しました。幹事長としてのお考えは。

【幹事長】野田代表は昨日の石破首相との党首会談で3つ言われました。一つは熟議であること、それが公開の場、つまり委員会、国会で行われ実質化していくこと。それから先般、自公が野党の合意を得ず、無理やり政治資金規正法を改正しました。それは民主主義のルールに関わることなので主に与野党の第一党同士が協議をして一致点を見い出すということが筋ではないか、の3つのことを申し上げました。一義的には非公式の与野党協議会にはならず、正々堂々、公開の場で議論していく。これから野党各党の意見を聞きながら進めていかなければなりませんので、具体的にどうなるかは今後次第ですが、わが党としてそういう前提で進めていききたい。

【記者】今朝、自公の政調会長の間で合意したことです。立憲民主、維新に対しては逡巡のある部分もあります。しかし、いま経団連が斡旋して名だたる日本中の大企業に一社当たり数千円、合計すれば数億、数十億とならない資金を一人自民党に投入しているというのは、日本の政治経済構造の極めて大きな歪みであり矛盾です。そうしたものを前提に石破さんがおっしゃっているとすれば、はなはだ見当違いだと見識が疑われる。憤りを持ってその発言を聞いているところですか。

【記者】企業団体献金について、立憲民主案では政治団体が除外扱いになっています。国民民主の玉木さんはこれを含めるべきではないかとの主張をしています。野田代表も夜のテレビでは見直しに前向きな姿勢を示しましたが、除外されていた理由と見直す必要性についてはどう考えていますか。

【幹事長】かねてから金権腐敗政治の原因になってきたのは、企業収益を原資とし企業の経営層の一存で巨額の金が政

られないのかそのへんのスタンスは。
【幹事長】 熟議と公開という野田代表の大方針は全党に徹底されています。どこかだけが例外だとか、秘密に通じ合うルートがあるとかはありません。

首脳会談 11・19

【記者】 石破総理の外交のことで伺いたい。南米で行われたAPECの会議の場で、石破総理が他国の首脳と会うときに着席したまま握手をしていたことや、集合写真の撮影に遅れてしまったことをめぐり、非礼ではないかという指摘も相次いでいるが、こうした外交姿勢についてお考えがあればお願いしたい。

【幹事長】 あまり揚げ足は取りたくありません。しかし、日本国の首脳が、時に現地で、あるいは時に世界のメディアを通して、どう映っているかということは日本の国益にも関わることでですから、よくよく、時間管理、進行管理、服装、そして、立ち居振る舞い。あらゆることを、日本国民を代表すべく、代表するにふさわしい立ち居振る舞いをあえてお願いしたい。そう思っています。

棒でなくなるわけではない。罪は消えない」。一番いいのは、一度国会から退出いただくことではないかと思えます。
【記者】 昨日の決選投票で84票の無効票が出ました。裏返せば、立憲が野党をまとめ切れていないのではないか、という議論もあります。

【幹事長】 野党第一党としてまとめ切れなかったという批判があれば受け止めたと思います。構造要因としては比較第一党にならなかったこと、そして参院で依然として自公が多数派を持っていることがあります。その上で、野党を今一歩二歩、束ねていく推進力を生み出せなかった。その批判は正面から受け止めたい。それとは別に、無効票を投じたことは人のせいにはしないでほしい。無効票を投じる責任、判断は、それを投じた人に引き取っていただきたい。あらゆる選挙で有権者はみなそうしています。

【記者】 先程、自公の政調会長の会談で政策協議に関する呼び掛けがあった点で、仮に、入り口として政調会長同士でやろうとなったとき、ある程度、応じた上で判断するのか、具体的提案がないと応じ
 ございませぬ。
 北朝鮮は、今朝も複数発の短距離弾道ミサイルを発射いたしました。これらは、国連安保決議に明白に違反するのみならず、我が国並びに地域、さらには、国際社会の平和と安全を脅かすものであって、断じて容認することはできません。既に、北京の大使館経由で、厳重に抗議を行ったところでございます。

今後とも、G7、そして日米、日米韓で緊密に連携するとともに、国際社会と協力をしながら、しっかりと対応してまいりますと
 考えております。
 また、現地時間の本日5日に、米国大統領選挙が実施されます。政府としても、高い関心を持って、これを注視しているところでございます。

日米同盟は、我が国、外交・安全保障政策の基軸でございまして、インド太平洋地域、そして、国際社会の平和と繁栄の基盤であることには、今後とも変わりはございませぬ。

こうした日米同盟の重要性については、米国でも党派を超えて共通の認識が存在していると認識しております。引き

に投入されるいわゆる企業献金が本丸です。一方、政治団体は様々な業種や職種に応じて構成員が政治的目的を持って構成し、原資は任意の個人献金です。一方、国民の側から見ると、○○政治連盟はなぜ良くて、○○株式会社はなぜ悪いのかという分かりにくさがあります。それと、

実質においても、任意での献金だとはいえ、事実上、そこに同調圧力はないのかという視点はあるでしょうし、かたち上、団体構成員の総意とはいえ、その団体役員一存ということもあるでしょう。したがって、実質において似通ってくる。その意味からいうと、そこも含めてちゃんと見直そうじゃないかという議論にも一理ある。これは今一度党内にはかりたいと思っと思っています。

【記者】 自民党が裏金事件を巡って収支報告に不記載となった7億円相当を国庫に返納するという報道があります。これについての受け止めは。

【幹事長】 同郷同士の玉木さんがかねてよりうまいことをおっしゃるな、と感じていましたのでその言葉を繰り返しますと、「泥棒が物を返したからといって泥



岩屋毅外相

記者会見 11・5

北朝鮮のICBM発射

【大臣】 北朝鮮が、10月31日に、ICBM級の弾道ミサイルを発射したことを受けまして、本日5日、G7として、これを強く非難する声明を発出したところで

岩屋毅外相



らっしゃいますけれども、この石破政権の外交力が低下するんじゃないかという指摘については、どのように御見解を持ちかお教えください。

【大臣】まず、米大統領選挙についてですけれども、その推移や、今後の影響等も含めて、高い関心をもって、私どもも注視しておりますが、他国の内政に関わることでございますので、その中身についてのコメントは、控えさせていただきますと思います。

その上で、先ほど申し上げたように、党派を超えて、米国の中でも、日米同盟の重要性については、共通の認識が存在していると考えておりますので、仮に、新大統領が決まれば、それはやはりできるだけ早く、首脳を始めハイレベルの会談を行う、コンタクトをするということが望ましいと考えておりますが、現時点で、それがいつになるかということはまだ決まっておりますし、コメントは控えさせていただきます。

それから、外交力というお尋ねでしたけれども、以前にも申し上げたように、やはり、外交というのは、安定性と継続

性が、とても重要でございますので、一般の選挙結果が、日本の外交、あるいは安全保障に影響が及ぶということがあつてはならないと考えております。

それだけでなく、我が国を取り巻く安全保障環境は、戦後最も厳しい状況にあると思えますし、国際情勢は、刻一刻と激しく揺れ動いているという中でございますから、外交と安全保障については、できれば、与野党を超えて、幅広いコンセンサスを作っていくことが大事だと思っております。そのような努力をしっかりと行っていききたいと考えております。

現実的な国益を踏まえて、安定的で継続的な外交と安全保障を、しっかりと行っていくということが大切だと考えているところです。

【記者】UNRWAの活動についてお伺いします。イスラエル国会が、先月末、UNRWAの国内での活動を禁止する法案を可決して、今月3日に、国連に協力関係を解消すると通知しました。日本政府としての受け止めと、今後の対処方針について、お伺いさせていただきます。

【大臣】事態を深刻に懸念しております。割を果たしているということを確認をさせていただきます。今回の視察では、こうした最前線を担う隊員が、非常に高い緊張感を持ちながら、任務に精励する姿を、間近で確認をすることができました。特に、装備が大変近代化をされて、能力が向上をしている。こうした装備をしっかりと操作をしている隊員を見まして、非常に誇りを感じました。そして、この変化に対応していけるようにですね、任務が達成できますように、そして、誇りと名誉を持つて隊員が働ける環境をしっかりと作っていかなければならないということを感じさせていただきました。

そして、韓国、この海軍の練習艦隊の入港歓迎行事にも参加をいたしました。練習艦隊の日本寄港は6年ぶりでありまして、日韓防衛協力、また、交流の強化に寄与するものとしたしまして、心から歓迎をいたします。地域を取り巻く安全保障環境がより一層厳しさを増している中で、引き続き、様々な分野で、日米、日米韓、そして日韓、この防衛協力、そして交流を強化してまいりたいというふうに思っています。

今般、イスラエル政府が、UNRWAとの交換書簡の破棄を国連に正式に通知したと承知しております。日本政府としては、今般、イスラエル議会で可決されましたUNRWAの活動を大幅に制限する法案について、極めて深刻に懸念しているところでございます。

そこで、先月末、我が国は、カナダをはじめとする有志国とともに、本件法案に深刻な懸念を表明する外相共同声明を發出いたしました。また、その後の法案の可決を受けまして、本件に関する外務大臣談話を発出したしまして、同法案に深刻な懸念を表明したところでございます。

UNRWAは、ガザ地区だけではなく、中東地域全域における数百万人ものパレスチナ難民への支援において、必要不可欠な役割を果たしていると認識しておりますので、我が国としては、UNRWAやその他の国際機関による人道支援活動が、継続的に行われる、持続的に行われる、そういう環境を確保するように、イスラエル政府への働きかけを含めて、外交努力を、引き続き、粘り強く行っていきたくと考えております。

中谷元防衛相

記者会見 11・7

横須賀基地を視察

【大臣】本日、海上自衛隊の横須賀地区、並びに在日米海軍の横須賀基地を視察をいたしました。ここ横須賀は、海上自衛隊の主力部隊、また司令部の多くが所在をしております。更に、米インド太平洋軍の主力である第7艦隊、ここが配置をされている所でありまして、正に、我が国防衛の要であり、ひいては、地域の平和と安全に極めて重要な地区であり役

中谷元防衛相



【記者】横須賀基地を訪問された意義とですね、今回一日中視察されたわけですが、改めて御所感をお聞かせください。

【大臣】何と言っても横須賀は、海上自衛隊の主力部隊が所在をしておりますし、米海軍の第7艦隊、これが配置されているということで、正に、日本の防衛の要の場所であると、そして、ひいては地域の平和と安定にですね、極めて重要な役割を果たす所であるという観点で視察をいたしました。そして、改めてこの現状を確認するとともに、隊員の皆さんが非常に高い使命感と、そして緊張感を持つてですね、任務に精励する姿を間近で確認することができました。防衛の本質は、力にあります。強くなること、そして、これからも司令部、総監を核心に全隊員が一致結束をしてですね、一人一人が名誉と誇りを持って任務を達成をしていけるようにですね、大臣としては、この環境整備や、また防衛政策の完成にですね、万全を挙げてまいりたいというふうに思います。そして、今回の視察に併せて、韓国海軍、これの練習艦隊の入港歓迎行事に参加したということは、日

協働活動実施状況の調査の結果を公表させていただきます。調査結果では、本年の5月時点でコミュニティ・スクールの導入校は、2万校を超えました。これは前年度の比で2千校以上増えたところでございますが、全国の公立学校の約6割、58・7%で導入されたこととなります。コミュニティ・スクールは、学校と地域が連携・協働する地域学校協働活動と一体的に取り組んでいくことで、「社会に開かれた教育課程」の実現、また学校の働き方改革など、学校や地域の課題解決に資するものでございまして、引き続き、更なる導入の加速を図ってまいりたいというふうに思います。

4件目、最後になりますが、日本からユネスコ無形文化遺産の登録を提案しております「伝統的酒造り」に関しまして、「伝統的酒造り」に関しましては、杜氏・蔵人などが、こうじ菌を使って、日本各地の気候風土に合わせて、経験に基づいた、築き上げてきた我が国の大切な文化でござ

当の部分の検討が行われているということとは承知をしております。文部科学省といたしましては、本年の8月の中教審の答申を踏まえまして、令和7年の概算要求におきまして、教職調整額の引き上げなどによる教師の処遇改善、教職員の定数の改善、また支援スタッフの更なる配置充実に必要な経費を要求しているとともに、骨太方針の2024年におきましては、中教審の提案も踏まえて、「2025年の通常国会に給特法の改正案を提出する」ということを示させていただいております。引き続き、教育の質の向上に向けて、学校における働き方改革の更なる加速化、教師の処遇改善、学校の運営・指導体制の充実を一体的に、総合的に進めていきたいところでございます。また、給特法の件でございますが、給特法は、教師の自発的・創造性に基づく勤務に期待する面が非常に大きいこと、また、どこまでが職務であるかの切り分けが難しいという教師の職務の特殊性のところから、時間外勤務手当ではなく、勤務時間の内外を包括的に評価するものとして、教職の調整

いまして、今回の勧告は大変喜ばしいこととでございます。今後は、12月2日から12月7日にパラグアイで開催されるところでございます政府間委員会に正式決定される予定でございます。引き続き、登録に向けて最善を尽くしてまいりたいと思っております。

【記者】衆院選が終わりまして、与党で過半数割れという事態になりました。部分連合を模索する石破政権は国民民主党との政策協議を行っている、進めているところですが、文科行政に対する影響というのをどのように考えているかお聞かせください。

【大臣】お尋ねの件に関しましては、各政党間で議論されるべき事柄でございます。して、文部科学大臣としてのコメントは差し控させていただきます。いずれにいたしましても、石破内閣の一員として、政府全体の方針を踏まえさせていただきながら、文部科学行政を進めてまいりたいというふうに思います。また、「教育国債」も含めた無償化でございますが、先の衆議院選挙におきまして、国民民主党が「高校までの教育の無償化」、また

額を支給することとしているところでございます。中教審の答申におきましても、教師の裁量性を尊重するこの仕組みは合理性を有しているとされているところでございまして、給特法を廃止することは考えておりません。文科省といたしましては、教育の質の向上に向けて、学校における働き方改革の更なる加速化、また教師の処遇改善、学校の指導・運営体制の充実を一体的・総合的に推進してまいります。以上でございます。

【記者】教員不足の件で質問します。高知県で実施された小学校の教員採用試験で、合格者の7割が辞退し、予定していた採用人数を確保できない事態となっております。辞退者がかかり多いなどという状況を感じる結果でしたが、このように年々深刻化する教員不足の現状について大臣の所見をお聞かせいただきたいのと、文科省としては教員採用試験の日程の前倒しを進めているところでありますが、高知県のケースのように、辞退者が増えるだけで教員の確保にはつながらないのではないかと見方もあるかと思っております。これについても合わせて大臣のお

「教育国債」、公約に掲げたことは承知しているところでございますが、個別の党の具体的政策に関してはコメントを控えさせていただきますというふうに思います。いずれにいたしましても、文部科学省としては、あらゆる人が最適な教育を受けられる社会、これを実現できるよう、教育費の負担軽減にしっかりと取り組むとともに、必要な教育予算を着実に確保してまいります。

【記者】先日、政府内で公立学校の教員に残業代を支払い、現状の教職調整額を廃止することの検討を始めるとの報道が一部ありました。まず、こうした事実が実際にあるのかどうかということが1点と、この報道が事実だとすると、これまでもの中教審の議論というのが大きく方向修正されることになりすし、給特法も廃止ということになるというふうに思うのですけれども、文科省としての現時点でのスタンス、あるいはこうした給特法廃止の可能性といったものをどの程度想定しているのかといったところを教えてください。

【大臣】政府内でいわゆる時間外勤務手考えをお聞かせください。

【大臣】教員の確保が非常に厳しくなっているのは、実は世界中でもそうみたいでございます。G20でもかなりの大きなトピックになりました。お尋ねのところの高知県の教育委員会におきましては、教育採用選考（注）を周辺の自治体より早く実施するというところによって、できるだけ多くの受験者数を確保した上で、辞退者が出ることを見込んで、採用予定人数を大幅に上回る人数を合格者とするという方法を従来から実施してきたというふうに聞いています。

こうした取り組み方針も任命権者としてのいわゆる教師の人材確保に向けた工夫の一つであるというふうな受け止めていますが、文部科学省としては、教員不足の現状は厳しいというふうな認識をもちろんさせていただいてるところでございます。まして、優れた教師人材の確保に向けて、計画的な新規採用、現職以外の教員免許の保有者に向けての研修の実施またさらには採用選考の工夫・改善などの取り組みを各教育委員会などに促させていただいているところでございます。

更生保護法人 関東地方更生保護事業協会

主な事業

保護司、更生保護施設、更生保護女性会、BBS会、協力雇用主など、更生保護事業にかかわる民間団体に対する連絡・助成



諸団体の事業・活動資金の助成などを行い、円滑な活動が行われるよう支援します。

更生保護事業従事者の教養訓練の実施



保護司等、更生保護事業に携わる人たちの研修会などを実施し、多くの人がそこで研鑽を積みみます。

犯罪の予防及び更生保護思想の普及宣伝



パンフレット・チラシの作成配布

街頭パレードへの協力

“社会を明るくする運動”を中心とする犯罪予防活動に協力し、更生保護思想の普及宣伝に努めます。

犯罪の予防及び犯罪者の改善更生に関する調査研究



犯罪予防等の専門家に調査研究を依頼し、犯罪や非行をなくすための方策などを、あらゆる面から追求します。

海外通信

11月1日(金)

海沿いの別荘からヒズボラ幹部連行、イスラエル特殊部隊がレバノン北部へ上陸作戦 イスラエル海軍の特殊部隊はレバノン北部バトールンに上陸し、イスラーム教シーア派組織ヒズボラの軍事部門の幹部を拘束し、連れ去った。イスラエル軍はレバノン南部で地上作戦を続けているが、北部への上陸作戦が明らかになるのはまれ。

武装集団が軍兵舎占拠―ボリビア 南米ボリビア中部のコチャバンバ県で軍の兵舎が武装集団に占拠された。複数の兵士が人質になっているという。アルセ大統領は、武装集団はモラレス元大統領の支持者だと批判している。

2日(土)
イラン、イスラエルに再報復宣言 イランの最高指導者ハメネイ師は首都テヘランで学生との会合で演説、10月26日にイランに反撃したイスラエルに対して「間



所が発表した。4日(月)

違いなく厳しい対応を受けることを知るべきだ」と述べ、再報復を宣言した。イスラエルの後ろ盾である米国も名指しで非難した。最高指導者事務所

UNRWAとの「協力終了」、イスラエルが国連に通告 イスラエル国会が10月末に国連パレスチナ難民救済事業機関(UNRWA)の国内活動を禁止する法案を可決したことを受け、イスラエルのダノン国連大使は「UNRWAとの協力関係の終了を国連に通告した」と発表した。同国がイスラム組織ハマスと交戦するパレスチナ自治区ガザへの支援が困難になる懸念が一段と高まっている。

国連安保理、北朝鮮ICBMで緊急会合 国連安全保障理事会は北朝鮮による新型大陸間弾道ミサイル(ICBM)発射を受け、緊急の公開会合を開いた。会合では米国が中国とロシアを名指しし、両国の「恥知らずな擁護」によって北朝鮮が核・ミサイル開発を推し進めていると糾

弾。中口が反発し、非難の応酬となった。5日(火)

クアッド結束維持で一致―豪印外相 オーストラリアのウオン外相は首都キャンベラでインドのジャイシャンカル外相と会談し、米大統領選の結果にかかわらず日米豪印の協力枠組み「クアッド」の結束を維持していくことで一致した。

仏海軍艦艇が舞鶴寄港 フランス海軍のフリゲート艦「プレリアル」が京都府舞鶴市に寄港し、艦上イベントを行った。仏海軍によると、舞鶴に仏軍艦艇が寄港するのは24年ぶり。同艦は洋上で物資を積み替える「瀬取り」など北朝鮮の違法な海上活動の監視を行う多国間枠組みに参加している。

「北朝鮮兵と初の交戦」、ウクライナ国防相 ウクライナのウメロフ国防相は、ロシアによる侵攻を支援するため北朝鮮が派遣した兵士とウクライナ軍の小規模な交戦が初めてあったと明らかにし、北朝鮮が参戦を開始したとの認識を示した。韓国のKBSテレビがインタビューを報じた。米大統領選、トランプ氏当選 米大統領

選は投開票が行われ、複数の米メディアは共和党のドナルド・トランプ前大統領(78)が民主党のハリス副大統領(60)に勝利し、当選した。トランプ氏は南部フロリダ州ウエストパームビーチでの演説で勝利宣言し、「今夜、われわれは歴史をつくった。誰もが不可能と信じていた障害を克服した」と語った。

7日(木)



トランプ氏、大統領首席補佐官にワイルズ氏起用 トランプ次期米大統領は、大統領首席補佐官に選挙戦で選対本部長を務めたスージー・ワイルズ氏(67)を充てると発表した。大統領首席補佐官に女性

が起用されるのは初めて。オランダでサッカー試合後にイスラエル人サポーター襲撃 オランダ・アムステルダムでサッカー欧州リーグの試合の応援に来ていたイスラエル人サポーターたちが襲撃され、多数の負傷者が出た。イスラエルのネタニヤフ首相は翌日、「深刻な暴力事件」として、自国民を救出するため航空機2機を派遣するよう指示し

た。10日(日) モスクワに過去最大のドローン攻撃、34機撃墜 ロシア国防省はウクライナ軍の大規模なドローン(無人機)攻撃がロシア各地であり、モスクワ郊外では34機を撃墜したと発表した。ロシア独立系メディアは「モスクワへの過去最大のドローン攻撃」と伝えている。数日で3回会話 トランプ氏とイスラエル首相 イスラエルのネタニヤフ首相はトランプ次期米大統領と過去数日間ですら話を合意できなかった。トランプ氏はイスラエル支持の立場を明確にしている一方、来年1月の就任前にパレスチナ自治区ガザやレバノンでの戦闘を終わらせるよう求めていると報じられている。双方は、停戦を含む今後の方針について話し合ったとみられる。ポケベル爆発、関与認める イスラエル首相 レバノン各地で9月中旬に多数の死傷者を出したポケットベルや無線機の一斉爆発に関し、イスラエルのネタニヤフ首相は閣議で同国の関与を認めた。地元メディアが報じた。イスラエルが公式



11月1日(金)



発射は新型「火星19」―北朝鮮 北朝鮮の朝鮮中央通信はミサイル総局が10月31日に新型大陸間弾道ミサイル(ICBM)「火星19」の試射を初めて行い、成功したと伝えた。固体燃料式とみられるICBMの「最終完結版」と位置付けた。

口朝外相が会談―モスクワ ロシア外務省によると、ラブロフ外相と北朝鮮の崔善姫外相がモスクワで会談した。崔氏がラブロフ氏と会うのは、9月の訪露時以来。ウクライナに侵攻するロシアを支援するため北朝鮮が派兵した問題に対し、西側諸国が「重大な懸念」(日米韓高官)を示す中、間を置かず面会した。

台北地裁、野党党首の勾留延長―再開発巡る汚職容疑で 台湾第2野党・民衆党

た。

10日(日) モスクワに過去最大のドローン攻撃、34機撃墜 ロシア国防省はウクライナ軍の大規模なドローン(無人機)攻撃がロシア各地であり、モスクワ郊外では34機を撃墜したと発表した。ロシア独立系メディアは「モスクワへの過去最大のドローン攻撃」と伝えている。数日で3回会話 トランプ氏とイスラエル首相 イスラエルのネタニヤフ首相はトランプ次期米大統領と過去数日間ですら話を合意できなかった。トランプ氏はイスラエル支持の立場を明確にしている一方、来年1月の就任前にパレスチナ自治区ガザやレバノンでの戦闘を終わらせるよう求めていると報じられている。双方は、停戦を含む今後の方針について話し合ったとみられる。ポケベル爆発、関与認める イスラエル首相 レバノン各地で9月中旬に多数の死傷者を出したポケットベルや無線機の一斉爆発に関し、イスラエルのネタニヤフ首相は閣議で同国の関与を認めた。地元メディアが報じた。イスラエルが公式

の柯文哲主席(党首)が汚職容疑で逮捕された事件で、台北地裁は勾留を2カ月延長する判断を下した。中国、ベトナム漁業者拘束か―領有権争う南シナ海で ロイター通信によると、ベトナム外務省は10月31日、南シナ海の西沙(英語名パラセル)諸島で、中国当局がベトナムの漁業従事者を拘束したと明らかにした。即時解放を求め、中国側に抗議しているという。拘束された時期や人数は不明。中国外務省の林劍副報道局長は記者会見で「ベトナムには漁業従事者の教育と管理を強化するよう求め

てはならない」と強調。拘束について具体的な言及は避けた。4日(月) インドネシア、ロシアと初の軍事演習 インドネシア海軍は東ジャワ州スラバヤ沖でロシア海軍との合同軍事演習を開始した。2週間での演習は初めて。インドネシアでは10月20日にプラボウォ大統領が就任したばかりで、同国は全方位外交路線を維持しながらも、ロシアとの関係強化していく可能性がある。

5日(火) 短距離ミサイル複数発射―北朝鮮 韓国軍は北朝鮮が南西部・黄海北道沙里院付近から日本海に短距離弾道ミサイル数発を発射したと発表した。日本の防衛省によると、少なくとも7発が約400キロ飛行し、最高高度は約100キロだった。日本の排他的経済水域(EEZ)外に落下したもよう、航空機や船舶への被害は確認されていない。6日(水) 台湾「統一促進党」を解散へ 台湾内政部は政治団体「中華統一促進党」を台湾の民主主義を脅かしているとして、政党法により調査し、法廷で解散を求めるとした。

中華統一促進党は台湾と中国の統一を主張している。嘉義地方檢察署(地検)は4日、中国当局から2011〜23年にかけて計7400万台湾ドル(約3億5000万円)を受け取り、選挙活動をしたとして同団体幹部の張孟崇・中央委員とその妻を起訴している。7日(木) 韓国軍、弾道ミサイルの実射訓練実施

に実行を認めたのは初めて。11日(月) ウィップス氏 義兄破り再選―バラオ大統領選 太平洋の島国パラオで11月5日に行われた大統領選で、ウィップス大統領(56)が返り咲きを目指した義理の兄のレメンゲサウ前大統領(68)を破り再選を確実にした。ウィップス氏は台湾との外交関係を維持するとともに、米軍駐留の受け入れ拡大を通じ対米関係を強化していく考えだ。12日(火) 学校での携帯電話使用を禁止―ブラジル・サンパウロ ブラジル・サンパウロ州議会は公立・私立学校を含む州内の幼稚園から高校までの教育機関において、生徒の携帯電話使用を校内で全面的に禁止する条例を満場一致で可決した。13日(水) 米共和党「トリプルレッド」達成、大統領職と上下両院握る 米大統領選と同時に実施された5日の連邦下院選(定数435)で、赤をシンボルカラーとする共和党が大統領職と上下両院を独占する「トリプルレッド」を達成した。

61 新政界往来

ASEAN協会

Association of Southeast Asian Nations

アセアン加盟国



一つのビジョン
一つのアイデンティティ
一つの共同体

アセアン協会の目的

本会は、日本とアセアン諸国との相互理解を図り、経済的社会的発展と国民相互の友好に貢献することを目的とする。

活動内容

- ◆ネットワーク・サービス
 - ◇アセアン諸機関・組織とのネットワーク
 - ◇各国大使館とのネットワーク
 - ◇国際交流・留学に関する支援活動
- ◆ビジネス・サポート
 - ◇海外進出・合併企業に関するサポート
 - ◇外国人研修・雇用促進
 - ◇企画・開発業務等に関するサポート
- ◆教育・研修・研究活動
 - ◇国際会議・シンポジウムの開催
 - ◇親善使節・視察団派遣
 - ◇研究会・講演会・懇談会の開催
- ◆出版活動
 - ◇アセアン・ニューズレターの発行
 - ◇政治・経済・文化資料の提供
 - ◇その他

事務局 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-2 電話(03)5280-6222 ファクス (03)5280-6229

11 北朝鮮の挑発に対抗 北朝鮮の相次ぐ弾道ミサイル発射に対抗し、韓国軍が弾道ミサイルの実射撃訓練を実施した。韓国軍合同参謀本部によると、軍は黄海上で地对地弾道ミサイルの実射撃訓練を実施した。

8日(金)

中国、「隠れ債務」対策に総額210兆円 中国の藍仏安財政相は地方政府が抱える「隠れ債務」と呼ばれる簿外債務に関して総額10兆元(約210兆円)規模に上る対策を発表した。地方債の増発を認めて隠れ債務を圧縮し地方政府の負担軽減を狙う。

フィリピン、オンライン賭博施設を禁止 フィリピンのマルコス大統領は「POGO」と呼ばれるオンラインカジノ施設を全面禁止にする法令に署名した。年内の営業停止を命じる。POGOは多くが中国人向けで、特殊詐欺や人身売買などの犯罪の温床になっているとして社会問題になっていた。

10日(日)

尹大統領、トランプと親交を深めるために8年ぶりにゴルフ練習 尹錫悦韓国大



統領が「ゴルフマニア」として有名な米国のトナルド・トランプ次期大統領と親交を深めるために、8年ぶりにゴルフ

12日(火)

クラブを握ったことが分かった。車暴走で35人死亡―中国・珠海市 中国南部・広東省珠海市で自動車暴走して多数の人はね、地元警察当局は12日、35人が死亡し、43人が負傷したと発表した。車は逃走しようとしたが、警察が駆け付け、運転していた62歳の男を拘束した。

中国、新型ステルス戦闘機初公開―珠海航空ショー開幕 中国国際航空宇宙博覧会(珠海航空ショー)が中国広東省珠海で開幕した。新型ステルス戦闘機「殲35」や弾道ミサイル防衛システム「紅旗19」を初めて一般公開した。中国メディアによると、殲35は既に中国人民解放軍に実践配備されているという。台湾や南シナ海での緊張が高まる中、最新兵器を公開し自国の軍事力を誇示した。国軍トップ、近隣国首相と会談―ミャン

マー ミャンマーの実権を握る国軍トップのミンアウンフライン総司令官が、中国訪問を終えて帰国した。滞在中は李強首相に加え近隣国のタイ、ラオス、カンボジアの首相と会談し、国軍による統治の正統性をアピールした。

17日(日)

極超音速ミサイルの実験成功―インド国防省は同国初となる長距離極超音速ミサイルの発射実験に成功したと発表した。射程は1500キロ以上。同ミサイルの開発で先行する隣国・中国や、長年敵対するパキスタンを念頭に置いているもようだ。

金与正氏、韓国がビラ散布と主張―北朝鮮 北朝鮮の金与正朝鮮労働党副部長は談話を出し、北朝鮮の体制を批判するビラなどが韓国から飛来したと主張した。

18日(月)

比、米国と軍事情報協定締結 フィリピン政府は米国と機密情報を共有する軍事情報包括保護協定(GSOMIA)を締結した。オースティン米国防長官が同日マニラ首都圏入りし、テオドロ国防相と署名式に臨んだ。

11月1日(金)

防衛省、560億円で三菱重工と新迎撃弾開発契約 防衛省は日米が共同開発する極超音速兵器迎撃用の滑空段階迎撃用誘導弾(GPI)について、日本の開発企業として三菱重工と契約したと発表した。契約金額は560億4500万円で、納期は2029年3月。30年代の開発完了を目指す。

中国海警局の最大級巡視船、6月に尖閣諸島を周回 日本やフィリピンとの連携を強化するために派遣された米国の巡視船に対応する形で、中国海警局で最大級の巡視船が6月、尖閣諸島(沖縄県)を周回するような異例の動きを見せていたことが、政府関係者への取材でわかった。中国の強引な海洋進出に対して日米比などの連携が進む中で、尖閣を巡る緊張が高まった格好だ。日本政府は米側と情報を共有し、警戒している。安保協力で新たな枠組み―日EU、初の

外相戦略対話 岩屋毅外相は欧州連合(EU)のボレル外交安全保障上級代表(外相)と東京都内の飯倉公館で初の外相戦略対話を行った。「日EU安全保障・防衛対話」の新設などを盛り込んだ新たな合意文書「安全保障・防衛パートナーシップ」を公表した。2日(土)

領空侵犯は「妨害が原因」―中国、自衛隊に責任転嫁 中国軍機が8月に日本領空を初めて侵犯した問題で、中国政府が9月、「予期しない妨害」が原因だったと日本政府に伝えていたことが分かった。ミスとは認めなかった。自衛隊機による中国軍機の追跡を「妨害」と主張している可能性がある。領空侵犯という国際法上の違法行為の責任を自衛隊機に転嫁した形だ。再発防止策も示しておらず、日本側は反発している。複数の日中外交筋が明らかにした。3日(日)

女川原発2号機―計測機器のトラブルで原子炉停止へ 東北電力は女川原発2号機のトラブル発生に伴い、原子炉を停止し、点検することを明らかにした。6日(水)

「壁」見直し、財源は剰余金―国民・玉木氏 国民民主党の玉木雄一郎代表はラジオ日本の番組で、所得税の負担が生じる「年収103万円の壁」見直しによって大幅な税収減が見込まれることについて、予算の使い残しや税収の上振れ分で賄えるとの認識を示した。「去年は使い残しの予算が7兆円、おとしは11兆円ある。税収も去年は見込みより2・5兆円上振れしている」と指摘。「きちんと精査すれば7兆円くらいの減税は十分できる。財源の問題というより、取り過ぎているものを戻そうということだ」として、税収減を理由とする慎重論に反論した。

自民選対委員長に木原誠二氏、首相調整石破茂首相(自民党総裁)は、新たな党選対委員長に木原誠二選対委員長代行(54)を昇格させる方向で調整に入った。辞任の決まった小泉進次郎氏の後任。来週、第2次石破内閣発足に合わせて就任する見通し。複数の党関係者が明らかにした。来夏に東京都議選や参院選を控え、

日米韓が合同空中訓練、北朝鮮ICBMに対抗 韓国軍合同参謀本部は韓国南部・濟州島東方の空域で、日米韓3カ国が合同空中訓練を同日実施したと発表した。米軍のB1B戦略爆撃機が参加し、10月31日に大陸間弾道ミサイル(ICBM)を発射した北朝鮮への対応能力を誇示した。訓練は日韓の防空識別圏が重なる空域で行われた。4日(月)



H3・4号機 打ち上げ成功、JAXA宇宙航空研究開発機構(JAXA)は自衛隊の部隊運用で使用する防衛省のXバンド通信衛星「きらめき3号」を搭載

したH3ロケット4号機を、鹿児島県・種子島宇宙センターから打ち上げた。きらめき3号は約30分後に予定の軌道に投入され、打ち上げは成功した。5日(火)

立・国、「103万円の壁」見直しで協力 立憲民主党の野田佳彦代表と国民民主党の玉木雄一郎代表は国会内で会談し、自民党派閥の裏金事件に関し、再発

防止策は不十分だとして年内に政治資金規正法の再改正を図る立場で一致。野田氏は所得税負担が生じる「103万円の壁」見直しについて、国民民主に歩調を合わせて実現を目指す考えを伝えた。サイバー防衛法案、年内提出見送り サイバー攻撃の兆候を捉えて被害を未然に防ぐ「能動的サイバー防衛」を導入する関連法案について、政府は年内に見込まれる臨時国会への提出を見送る方向で調整に入った。複数の関係者が明らかにした。衆院での与党過半数割れを受け、石破茂首相(自民党総裁)は経済政策などに関する与野党協議に力を割かざるを得ず、国会で十分な審議時間を確保できないと判断した。

自民、「虎の子」ポスト放出、難路の国会運営へ 特別国会の召集が11日に迫る中、衆院選で大幅に議席を増やした野党に押し切られ、自民党は17ある衆院常任委員長ポストの約半数を譲ることになった。予算案の審議を差配する予算委員長も含まれる。自民が「虎の子」のポストを手放したことで野党はひとまず矛を収めたが、石破政権は少数与党の現実をか



相は閣議後記者会見で、国民民主党が掲げる「年収103万円の壁」見直しに関し、国税の所得税と同様に、地方税の個人

住民税の基礎控除額を引き上げた場合、約4兆円の減収が見込まれるとの試算を

みしめる格好となった。



防衛相、韓国軍艦に初乗艦 中谷元・防衛相は海上自衛隊横須賀基地(神奈川県横須賀市)に寄港した韓国海軍艦艇に乗艦し、乗組員と交流

した。防衛省によると、記録が残る限り、日本の防衛担当閣僚が韓国軍艦に乗り込むのは初めて。

11日(月)

第2次石破内閣が発足、30年ぶり決選投票で再指名 10月の衆院選を受けた第215特別国会が召集され、石破茂首相(自民党総裁)が衆参両院で第103代首相に指名された。皇居での首相親任式と閣僚認証式を経て、夜に第2次石破内閣が発足した。首相は首相官邸で記者会見し、衆院選大敗を踏まえ「自民党は今度こそあるべき国民政党として生まれ変わらなければならぬ」と表明した。

衆院正副議長が会派離脱 衆院の額賀福志郎議長と玄葉光一郎副議長は就任を受け、自民党と立憲民主党の会派をそれぞれ離脱した。参院では関口昌一議長が自民会派を離脱し、尾辻秀久前議長が同会

派に復帰した。

参院内閣委員長―石井浩郎氏就任 参院は常任・特別委員長を選出した。内閣委員長には新たに石井浩郎氏(自民)が就いた。

国民・玉木氏、不倫認め謝罪 国民民主党の玉木雄一郎代表は週刊誌による自身の不倫報道を認めて、謝罪した。衆院選で28議席に躍進し、国政でキャスティングボートを握るなど存在感を高めていた中で、のスクandal発覚で、党の勢いに冷や水を浴びせた格好だ。

12日(火)



石丸氏、地域政党結成へ 7月の東京都知事選に立候補し、次点だった前広島県安芸芸高田市長の石丸伸二氏はユーチューブ番組で、202

5年夏の都議選に向け地域政党を結成する考えを表明した。「詳細については12月中には発表する。記者会見を開いて説明したい」と述べた。

13日(水)

第2次石破内閣、「裏金」議員の起用見送り―副大臣・政務官人事を決定 政府

は臨時閣議で、第2次石破内閣の副大臣

26人、政務官28人の人事を決定した。自民党から外務副大臣に藤井比早之氏、内閣府政務官兼復興政務官に今井絵理子氏、外務政務官に生稲晃子氏らを起用。派閥裏金事件で政治資金収支報告書に不記載があった「裏金」議員はゼロだった。

日米韓の共同訓練開始―防衛省 防衛省は日米韓の共同訓練「フリーダム・エッジ」を開始したと発表した。海空や宇宙、サイバーなど複数の領域にまたがる統合運用の実動訓練で、新型大陸間弾道ミサイル(ICBM)などの発射を繰り返す北朝鮮や海洋進出を強める中国を念頭に、日米韓の連携を示す狙いがあるとみられる。

14日(木)

死刑廃止「適当でない」―官房長官 林芳正官房長官は記者会見で、死刑制度に關し、「国民世論の多数が、極めて悪質、凶悪な犯罪については死刑もやむを得ないと考えている。政府として制度を廃止することは適当でないと考えている」と述べた。

月間事件簿

11月1日(金)

野村証券元社員を逮捕、顧客宅に放火、強殺未遂容疑―広島県警 顧客だった80代夫婦宅を訪れて薬物を服用させ、家に放火して現金約2600万円を奪つたとして、広島県警は強盗殺人未遂と現住建造物等放火容疑で、無職梶原優星容疑者

(29)―神奈川県葉山町長柄Ⅱを逮捕した。夫婦は火事に気付き、逃げ出して無事だった。「お金は盗んだ。殺そうと思っていないし、火は付けていない」と否認しているという。

買春容疑で中国籍の男逮捕―警視庁 SNSで知り合った女子高校生に現金を渡し性交をしたなどとして、警視庁少年育成課は児童買春・ポルノ禁止法違反(児童買春)容疑などで、中国籍の会社員、趙曉暉容疑者(35)―埼玉県川口市本町Ⅱを逮捕した。容疑を認めている。

2日(土)

東京・葛飾の住宅で緊縛強盗、29歳男を

逮捕―警視庁



東京都葛飾区東水元の戸建て住宅で、「何者かが侵入している」と近隣住民から110番があった。警視庁亀有署員が駆け付けたところ、住人の

70代男性が粘着テープで顔や上半身を縛られ、現金が奪われていた。同署は現場にいた住所、職業不詳、自称山内裕太容疑者(29)を強盗致傷容疑で現行犯逮捕した。

3日(日)

木曾川で10代男性2人転落、1人行方不明 木曾川の景勝地「寢覚の床」で10代の男性2人が転落し、警察と消防が救助にあたり1人を救助したものの、もう1人は見つからない。

新たに30歳女逮捕、強盗殺人容疑―横浜高齡男性死亡事件 横浜市青葉区の住宅で10月、住人の後藤寛治さん(75)が殺害され現金約20万円が奪われた事件で、神奈川県警は強盗殺人容疑で、新たに東京都足立区関原の職業不詳、木本未穂容疑者(30)を逮捕した。同容疑者は強奪品の回収役とみられ「一緒に強盗したこ

とは否定します。犯罪で得たお金を回収しました」と話しているという。事件を巡る逮捕者は2人目。

4日(月)

市原ホテル強盗殺人、現金被害は数万円程度か 千葉県市原市のホテルで、女性従業員が殺害され、手首を縛られた状態で見つかった事件で、千葉県警市原署捜査本部は現場検証の結果、現金の被害が判明したと明らかにした。数万円とみられる。強盗殺人事件として捜査している。

詐欺容疑などで巡査長逮捕―神奈川県警 駐在所勤務で面識のあった地域住民の委任状を偽造し、郵便局の口座から現金700万円を詐取したとして、神奈川県警は有印私文書偽造・同行使と詐欺の疑いで、横須賀署地域課の巡査長沢田義弘容疑者(36)を逮捕した。同容疑者は容疑を認め「借金の返済などに充てた」と話しているという。

7日(木)

小4殺人未遂容疑で逮捕、加古川女児殺害への関与示唆―無期懲役で服役の男・兵庫県警 岡山県津山市の女児殺害事件で無期懲役の判決を受け服役中の男

警視庁からのお知らせ!

3つのウソ電話に注意!

警察・金融庁・銀行協会・裁判所
を名乗って

あなたの口座が使われ
ました。
キャッシュカードを預か
ります。

信じていいかな?
おかしいかな?

**暗証番号は
絶対他人に言わない**

市・区役所・厚生労働省
を名乗って

医療費が戻りますよ
ATMに行ってください。

へえ、早くお金もらおう!

**ATMで
手続きすることは絶対ない**

息子や孫のふりをして

携帯電話の番号が
変わった。

**すぐに元の電話に
かけ直す**

ウソの電話は、すぐ110番!

警 視 庁



現金1500万円を奪い暴行死させた強盗致死容疑犯逮捕、仙台市 今年2月、仙台市の住宅に侵入し当時72歳の男性に暴行を加えて死亡させたうえ、現金およそ1500万円を奪ったとして、仙台市に

住む44歳の会社員の男が逮捕された。強盗致死と同居侵入の疑いで逮捕されたのは、仙台市宮城野区鶴巻一丁目の会社員・佐藤加寿也容疑者(44)。港に両足を布テープで縛られた男性の遺体、大阪・貝塚市 大阪府貝塚市の港で足が布テープで縛られた状態の男性の遺体が発見された。警察は事件に巻き込まれた疑いがあると捜査に入った。

ら「エンジンルームから火災が発生した」と、第7管区海上保安本部(北九州市)に通報があった。海自や海保によると、機関室にいた3等海曹(33)が行方不明で、室内に取り残されているとみられる。11日(月) 殺人容疑で元夫を逮捕、大阪マンション女性死亡 大阪市東住吉区のマンションで50代の女性が刺され死亡した事件で、大阪府警捜査1課は殺人容疑で、元夫で職業不詳橋野忠司容疑者(51) 同府松原市天美北IIを逮捕した。「元妻を私が殺したのか覚えていますか」と容疑を否認しているという。

9日(土) 実行役リーダーに無期懲役―「ルフィ」名乗る指示役らによる広域強盗のうち、1都3県の計6事件に関与したとして強盗致死罪などに問われた実行役永田陸人被告(23)の裁判員裁判の判決が東京地裁立川支部であった。菅原暁裁判長は「拷問とも言わなければならない」として求刑通り無期懲役を言い渡した。

10日(日) 山口・車いす事件、警察が被疑者逮捕 山口市で車いすに乗っていたとみられる男性がはねられ死亡したひき逃げ事件で、警察は山口市の飲食店経営・虎谷聡容疑者(45)を逮捕した。サーフィン大会で選手の男性がおぼれ死亡、宮崎 警察によると、宮崎県延岡市の長浜海岸で開かれていたサーフィン大会「コネクションカップ秋の陣」に選手として出場していた市内に住む飲食店経営の平崎吉信さん(57)が競技中、おぼれて死亡した。

14日(木) エステ店で「美人局」、9人逮捕―警視庁 男性用エステ店の客に「女の子が嫌がる行為をしたら罰金」と誓約させた上で、従業員に性的サービスを持ち掛けさせる「美人局」の手法で現金を脅し取ったとして、警視庁暴力団対策課は恐喝と監禁の疑いで、職業不詳永井悠太(32) 東京都中央区晴海IIから男女9人を逮捕した。

『独裁が生まれた日』

大熊雄一郎著

復活した毛沢東の亡霊

著者が共同通信社中国総局に赴任した2011年の翌年、中国共産党総書記に就任した習近平は思想統制を強め、「反腐敗」の名目で政敵を追い落とし、自身に権力を集中させた。さらに、鄧小平時代に導入された国家主席の任期制限を撤廃し、22年には3期目の総書記として皇帝のように君臨している。

この間、ネット監視や監視カメラ、電話盗聴などで、まさにジョージ・オーウ

エルの小説『1984年』のような全体主義国家が出現した。例えば、平気で政権批判を口にしていた共産党改革派の老人が、「上から警告されたので、話したことは記事にしないでほしい」と電話してきた。著者は盗聴者に聞かせるよう「ただの雑談ですから、報道することは絶対にありません」と答えたという。

の十年余りの間に中国で起きたことは、公的領域の無秩序な拡大であり、果てしない個人の解体だった」と総括する。ソ連共産党の末路から習近平が重視しているのは思想統制で、「中華民族の偉大な復興」には、国民の「脳」の同質化という意味が潜んでいる。

そうした中国社会の変化を著者が追体験できるよう、著者は国民の何気ない日常を権力が侵していく様子を描いている。今の中国人の息苦しさが伝わってきて、日本と世界の明日に大きな影響を及ぼす隣の大国とどう付き合えばいいのか、深刻に考えさせられる。

(白水社、2750円)



『グリーン戦争』

上野貴弘著

気候変動をめぐる国際政治

地球規模での温暖化対策が緊急の課題になってきた。具体的には二酸化炭素やメタンなどの温室効果ガスの削減で、そのための国際協定や各国の法整備が進

み、国際政治を動かす仕組みになっている。始まりは先進国だけが参加した京都議定書が1997年、途上国も参加したパ

リ協定が2015年のなので歴史は浅い。しかし、トランプ米大統領が19年に離脱を表明し、21年にはバイデン大統領が復帰を表明するなど揺れている。パリ協定では温室効果ガスの排出削減目標を各国自身が設定することになっているため、当然、国内の産業政策にも反映され、新しいビジネスも生まれる。

協定の実施が難しいのは、先進国と途上国の間だけでなく、先進国間でも対立関係があること。例えば、米国のインフレ抑制法は米国製を優先する仕組みなので、ターゲットは中国だが、EUも反発している。カナダは外交によって「米産産」を「北米産」に変更させた。さらに大きな問題はWTO（世界貿易

機関）の自由貿易との関係だが、紛争解決手続きは事実上機能はしていない。日本では2023年にGX（グリーン・トランスフォーメーション）推進法が成立し、向こう10年間でグリーン電力など脱炭素型の経済成長に20兆円を投資する計

画で、同時に、途上国への環境技術移転が期待されている。サプライチェーンの脱中国化を図りつつ、安全保障と連携しながら、インド・太平洋の経済圏の脱炭素化促進が期待されている。

(中公新書、1265円)

『平安時代の男の日記』

倉本一宏著

記録Ⅱ文化は権力の源泉

NHK大河ドラマ「光る君へ」の時代考証者の著者は、ドラマは恋愛と史実から成り、前者は全くの虚構だが、後者の政治や皇位継承はほぼ史実で、それは「古記録」という貴族の漢文の日記」によった

からという。平安時代の日記では女性の仮名日記がよく知られるが、著者はそれらは私小説に近いとする。それに対して、藤原道長の『御堂関白日記』や藤原実資の『小右記』など男性が漢文で書いたものは、まさに日記そのもの。当時、天皇から貴族、武士、学者、庶民にいたるまで日記が書かれており、世界的にも日本特異の文化だということ。

書評



近衛家には『源氏物語』の写本もあったが、戦乱で古記録は持ち出したが、残した源氏は焼失している。特に京都では、

記録Ⅱ文化が権力の源泉であるとの発想が支配的だったという。

例えば、1012年正月27日の除目(官職の任命式)に遅刻した右大臣の藤原顕光が、「花山朝の藤原為光の例にある」と言い訳したのに対して道長は、「日記にあるのか」と聞き、調べると書かれていなかったという。日記が判断基準になっていたのである。

『「天皇学」入門ゼミナール』所功著

「天皇学」は「日本学」

著者は「天皇を知ることとは日本と日本人を知る重要な手掛かり」という。それ



らの根幹をなす宗教史を略記しよう。地域や部族の神々を奉じてきた諸神道を、皇室祭祀を中心にまとめたのが3世紀、崇神天皇による天社と地社の和合で、これにより家族国家日本の基本が形成された。次いで、欽明天皇から聖徳太子の時代の宮中祭祀を軸とした仏教の受容で、日本宗教の基本である神仏習合が始まる。古来の文化を守りながら最新の外来文化

を積極的に取り入れ、日本を国際社会の一員に押し上げた。神仏習合は、江戸時代の檀家制度で力を持った僧侶への反発から、明治の神仏分離政策で紆余曲折したが、多くの家庭にも個人にも神道と仏教が併存する日本人の信心は変わらなかった。神社神道が国教のように扱われ、天皇が統帥権を持つ時代は、日本の長い歴史では特殊で、敗戦を経て、本来の象徴天皇に戻った。世界に誇るべきは女性の役割で、明治天皇が全国巡回で近代国民国家の姿を示されたのを助け、洋装の昭憲皇太后は国際赤十字の普及に努められた。その関係は奈良期の聖武天皇と光明皇后の姿になる。今上陛下は、昭和天皇に始まる自然科学者の伝統を水運という社会科学にも翼を広げ、国連水会議でも講演されている。科学に基づき世界の平和にも発言するという、新しい天皇の在り方の一つ。伝統を守っているからこそ、最先端の事象にも対応できるという日本人の手本である。(藤原書店、1980円)

書評

今月のお題

「親孝行」「テーマ自由」

俳句

天の果て 父母の逝きし 国あるや

(墓の前にして祈るとき、そこに父母の遺骨はあっても、魂があるのか。そんな思いが天の国を想像させるのだろうか)

地 雪の声 するが如くに 山の古寺

(雪の降りしきる山のぼつんと建つ古寺。そこから雪の声が聞こえて来るようだといふのである)

人 口笛や 着物をまとい 初詣

(新調した着物を着て初詣をする若者の姿が華やかだ。ついほろ酔い気分で、口笛を吹きたくなっただらう)

佳作

父の顔 皺ひとつずつ 増えにけり

(仙台市) 志賀 三郎

冬空や 孤高の鳶の 旋回す

(神戸市) 立花 ゆかり

(寂しさを感じる風景である)

俳句・川柳2月号

ひょうたん なまず

選者・東嶋 一刀齋

冬木立 町には遠き 旅の空

(札幌市) 砂川 彰

曇天や つららのごとき 山の峯

(青森市) 皆川 康夫

川柳

天 石橋が 割れて落ちる 自民党

(そういえば、石破首相の名前にはそんな意味があるような、ないような、きつと気のせいだろう)

地 孝行を 説けば説くほど 親不幸

(自分がやれなかったこと、できなかったことを子にやらせようとするのが、親というものである)

人 神仏に 手を合わせるや ホームレス

(ホームレスになって初めて、神仏の加護を願う。それは人としての当たりまえの姿だが、どこか悲しいサガでもある)

佳作

新春の 空に願うは 大当たり

(東京都) 罰当たり

トランプは ゲームのように 復活す

(宮崎市) 奇跡は二度ある

大谷の 笑顔まぶしい 世界一

(山形市) やったね!

若者で シルバースhirt 満席に

(東京都) 道徳忍者

【応募要項】次号のお題「夢」

あなたの俳句・川柳をお寄せ下さい。お題に添ったものでなくても結構です。自作未発表のものを1枚に3句程度まで。住所氏名(ペンネームの場合は本名も)・年齢・電話番号明記の上で、ご投句願います。投句は返却しません。二重投稿厳禁。天・地・人の句には薄謝なし粗品を贈らせていただきます。締め切りは毎月末日。住所 〒1101-0052 東京都千代田区神田小川町3-7-16 報道ビル6F 「新境界往来」ひょうたんなまず係まで。

▽：11月半ば、ペルーの首都リマで開かれたアジア太平洋経済協力会議（APEC）首脳会議で習近平氏が、石破茂首相と握手を交わした際の笑顔が印象的だった。習氏は余裕の笑顔で石破氏に右手を差し伸べた。一方の石破氏は笑顔もなくぎこちなさが目立った。

10年前、北京で開催されたAPEC首脳会議を彷彿させた。ただ、この時は笑顔で歩み寄った安倍晋三首相（当時）に、習氏はばつの悪そうな顔をしながら手を差し出した。握手する間、習氏は安倍氏とまったく目を合わせようとせず、視線をずらしたままだった。10年前は習氏は国家主席に就任したばかりで、党内を仕切れておらず安倍氏と仲のいいツーショットを配信されることで、保守派からの反発を懸念したと思われる。

今回は攻守入れ替わった格好だ。国家主席12年、しかも毛沢東のような終身制のカードも手にしている習氏にしてみれば、石破氏はやわらかな新生にしか見えなかつ

たはずだ。

その「習氏豹変」を思わせる背景にあるのは、政権基盤となる党内掌握への自信と「中国の夢」という世界覇権構築に向けた西側分断工作の野心なのかもしれない。

(I)

▽：田舎の魅力は、人情と豊かな自然だ。

とりわけ世話好きで話好きのおばちゃんパワーは、地域コミュニティの中核をなしている。

田舎からおばちゃんが一扫されると、途端に自治体はパンクした車のようにぎくしゃくした運営になりそうだ。

人に喜びを与え、それを自分の喜びとするおばちゃんの潤滑油パワーは侮れない。

そして玄関を一步出ればアウト

ドアという、川あり山あり、田んぼありのローカル色は心まで山の緑に染まり、川の水が沁みるような気がする。

秋のお散歩人は、手にバーベキュートングとビニール袋を持つ人が増えてくる。

散歩の途中、道に落ちている山栗のイガを靴で割って栗を取り出し、それをトングで拾ってビニール袋に入れるためだ。

旬になると、1^キ2^キ程度の栗はすぐ拾える。

山栗だから大きさはそれほどでもないものの、甘さは絶品だ。

夕食の栗ご飯でもいけるし、おやつのスイーツでもおいしく頂ける。

何より食材が道に転がっているというのが、縄文時代の採取生活を彷彿させていい。(T)

お願い

小誌では、読者の皆様の情報提供やアドバイス、寄稿を歓迎します。ジャンルは問いません。政治、経済、国際問題や社会問題など、積極的に原稿をお寄せください。提供された情報に関しては、意欲的に取材を行うつもりです。また情報提供および寄稿に関しては、住所、氏名、年齢、職業、電話番号などを明記の上、編集部宛までお送りください。

電話・ファックス
03・3291・7773

国会両院記者会所属

政界往来社

新政界往来2月号(創刊昭和5年)

2024年12月26日発行

定価600円

本体540円

主幹 寺田 利行

発行人 渡辺 清也

発行所 株式会社 ポリテイカ

ルニユース社

〒101-0052

東京都千代田区神田小川町

3-7-16 報道ビル6F

電話・ファックス

03・3291・7773

※小誌の記事や写真、図表の無断使用は禁止します。